

「平成 28 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版



平成 29 年 3 月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「平成 28 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要	2
2.1 モニタリング期間	2
2.2 モニタリングの種類	2
2.3 モニタリング参加者	2
2.4 水質調査地点	4
2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況	5
3. モニタリング調査結果	9
3.1 分析による水質調査	9
3.2 簡易水質テスト結果	18
3.3 一斉モニタリングの状況	25
3.4 ゴミ調査結果	90
3.5 水生生物調査結果	93
4. 感想等	99
5. 一斉モニタリング経年調査結果のまとめ	109

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉モニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様にも、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

今回は確定版として分析による水質調査、簡易水質テストによる調査、ゴミ調査、水生生物調査の結果についてとりまとめました。



図 1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。

(上の図の水色および緑色で示した部分)

- ・伊勢湾再生推進会議構成団体：国土交通省中部地方整備局・海上保安庁第四管区海上保安本部・内閣府地方創生推進事務局・農林水産省東海農政局・林野庁中部森林管理局・水産庁漁港漁場整備部・経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「平成 28 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1 モニタリング期間

平成 28 年 8 月 3 日 (水) を統一実施日とし、平成 28 年 7 月 8 日 (金) ～8 月 24 日 (水) の期間で実施しました。

2.2 モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

- ① 分析による水質調査 (調査結果 p.9～17)
- ② 簡易水質テスト (調査結果 p.18～24)
- ③ 一斉モニタリングの状況 (調査結果 p.25～89)
- ④ ゴミ調査 (調査結果 p.90～92)
- ⑤ 水生生物調査 (調査結果 p.93～98)

2.3 モニタリング参加者

今年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 28 年度	17	51
平成 27 年度	31	71
平成 26 年度	15	76
平成 25 年度	29	83
平成 24 年度	46	59
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

◆ 分析による水質調査

【行政機関】

愛知県環境部、一宮建設事務所、尾張建設事務所、海部建設事務所、大垣市環境衛生課、岐阜県環境生活部、岐阜市自然共生部自然環境課、岐阜県瑞浪市経済部環境課、岐阜県美濃加茂市、岐阜県神戸町民生部住民環境課、知多建設事務所、知立建設事務所、名古屋市環境局、西三河建設事務所、東三河建設事務所、津市環境部環境保全課、四日市港管理組合

◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

【行政機関】

愛知県岡崎市、第四管区海上保安本部、岐阜県環境生活部、岐南町、土岐市、御嵩町、四日市港管理組合

【市民団体・NPO 法人・個人】

イーツーワン(環境 21 期会)、猪子石学童保育所、内山川ホテルを守る会、梅田川フォーラム事務局、NPO 法人伊勢湾フォーラム、NPO 法人エコネットあんじょう、NPO 法人藤前干潟を守る会、扇川を愛する緑の会、大垣市生活学校、小里川ダム里山教室、金山町生活学校、可児市めだかの楽校、川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画、雲出川愛護モニター、港栄第一エコクラブ、清水川を愛する会、鯉城・堀川と生活を考える会、十四川を守る会、庄内川・川ナビ歩こう会、庄内川に松並木づくり隊、白鳥庭園、スティッチ、高松干潟を守ろう会、根本愛郷会、引山学区連絡協議会、別所団地西鹿乗川美化クラブ、瑞穂鯉城クラブ、みどりのまちづくりグループ、宮川流域ルネッサンス協議会、明治用水土地改良区、やすらぎくんネット、矢田・庄内川をきれいにする会、養老町女性会議、養老町生活と環境を考える会、四つ葉会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、論田川を美しくする会、渡し場かもめ会

【企業】

小塩通信株式会社、神野建設株式会社、東芝プラントシステム株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

【学校】

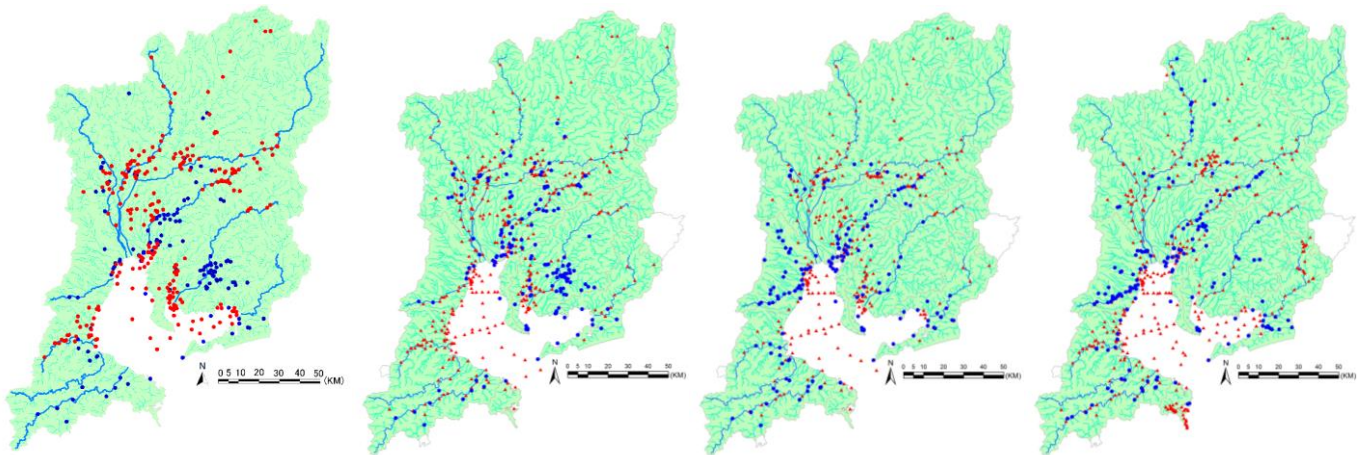
光陵中学校自然科学部、四日市市立山手中学校

2.4 水質調査地点

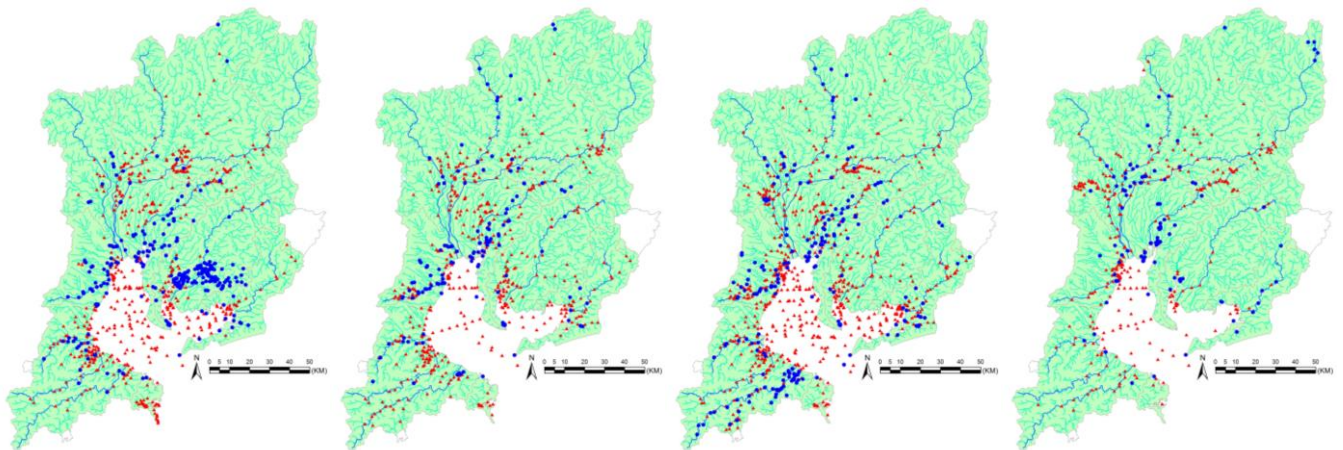
平成 28 年度のモニタリング調査地点数は、分析による水質調査が 308 地点、簡易水質調査が 191 地点でした。

表 2 一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 28 年度	215	164	379	160	31	191
平成 27 年度	422	77	499	225	27	252
平成 26 年度	259	80	339	132	32	164
平成 25 年度	328	125	453	159	33	192
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106



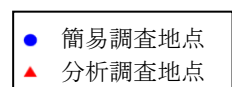
(平成 28 年度モニタリング地点) (平成 27 年度モニタリング地点) (平成 26 年度モニタリング地点) (平成 25 年度モニタリング地点)



(平成 24 年度モニタリング地点) (平成 23 年度モニタリング地点) (平成 22 年度モニタリング地点) (平成 21 年度モニタリング地点)

図 2 平成 21 年度～平成 28 年度一斉モニタリング地点

※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

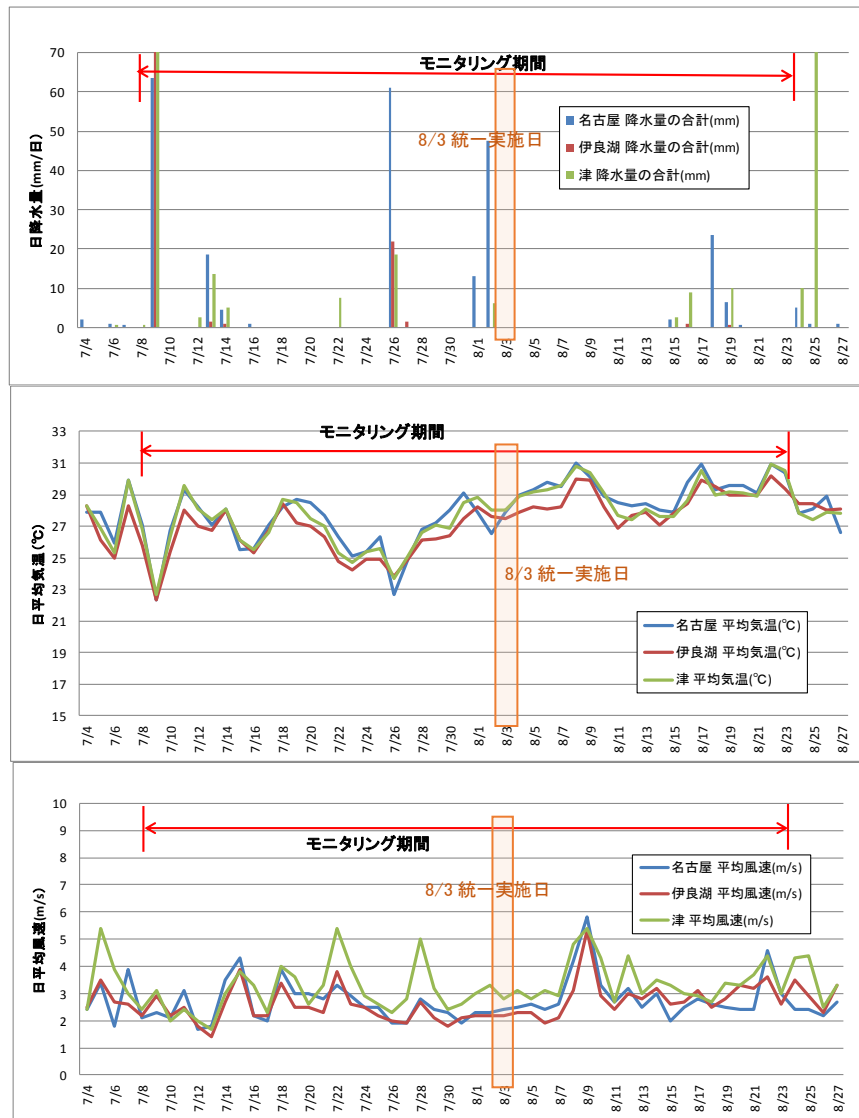


2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間（平成 28 年 7 月 8 日～8 月 24 日）を含む気象・海象状況を図 3、図 4 に示します。

一斉モニタリング期間中、7/8、7/26、8/1～8/2 に名古屋で大きな降水が生じました。8/3 の統一実施日の前日に降水が生じたため、一斉モニタリングの水質等に影響した可能性があります。また、気温も 7 月中旬から 8 月中旬にかけて概ね 25℃以上で推移し、最高気温は 8/8 の名古屋で 31℃でした。

日平均風速は、7 月中旬から 8 月中旬にかけて最大でも 6m/s 以下と穏やかな風況であったといえます。

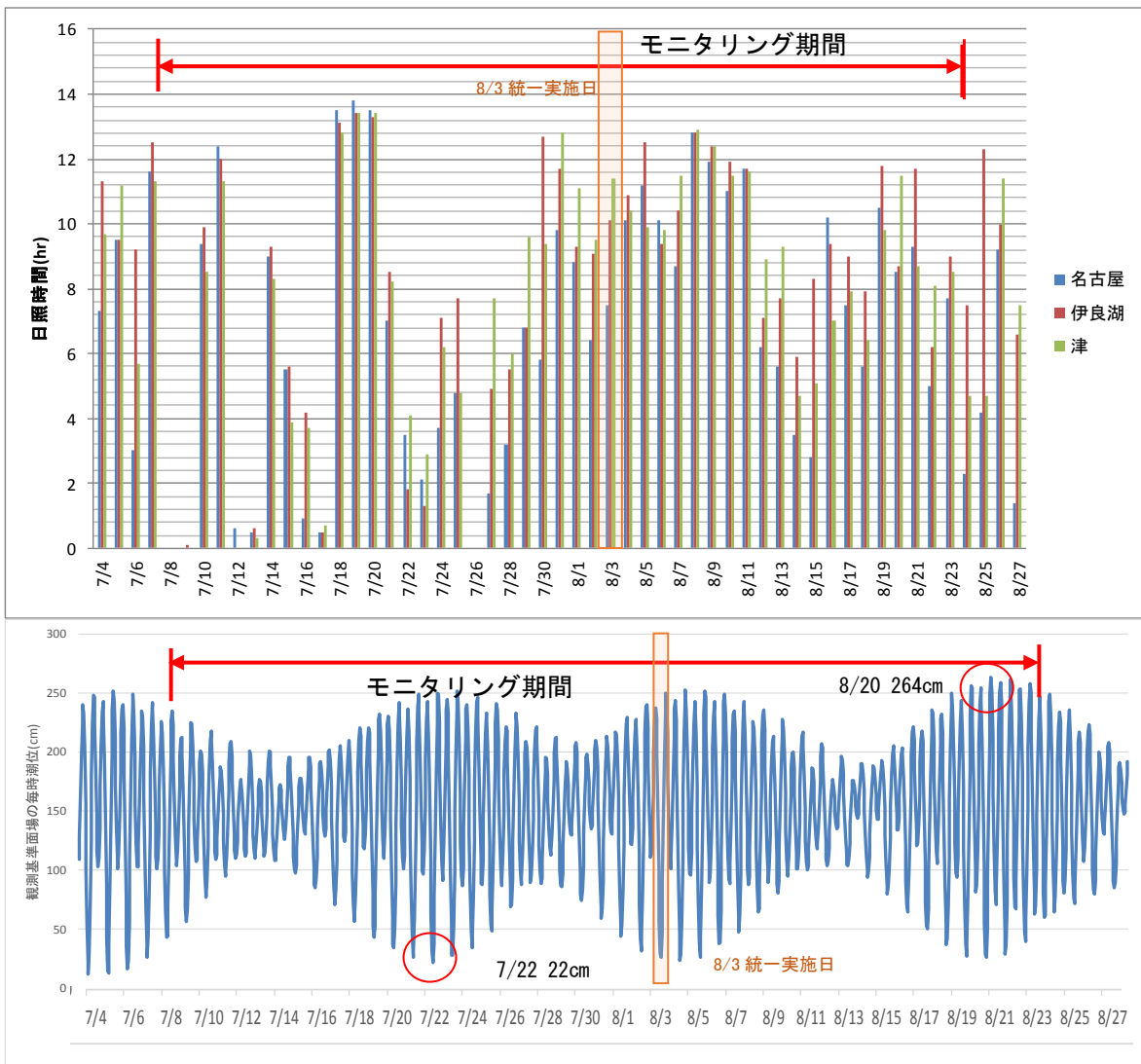


気象庁のデータから作成

図 3 一斉モニタリング時の気象・海象状況①(降水量・気温・風速)

日照時間は、7 月下旬の梅雨明け以降は晴天が続いたこともあり、7 月下旬から 8 月上旬にかけては概ね 10 時間程度の日照時間となっています。

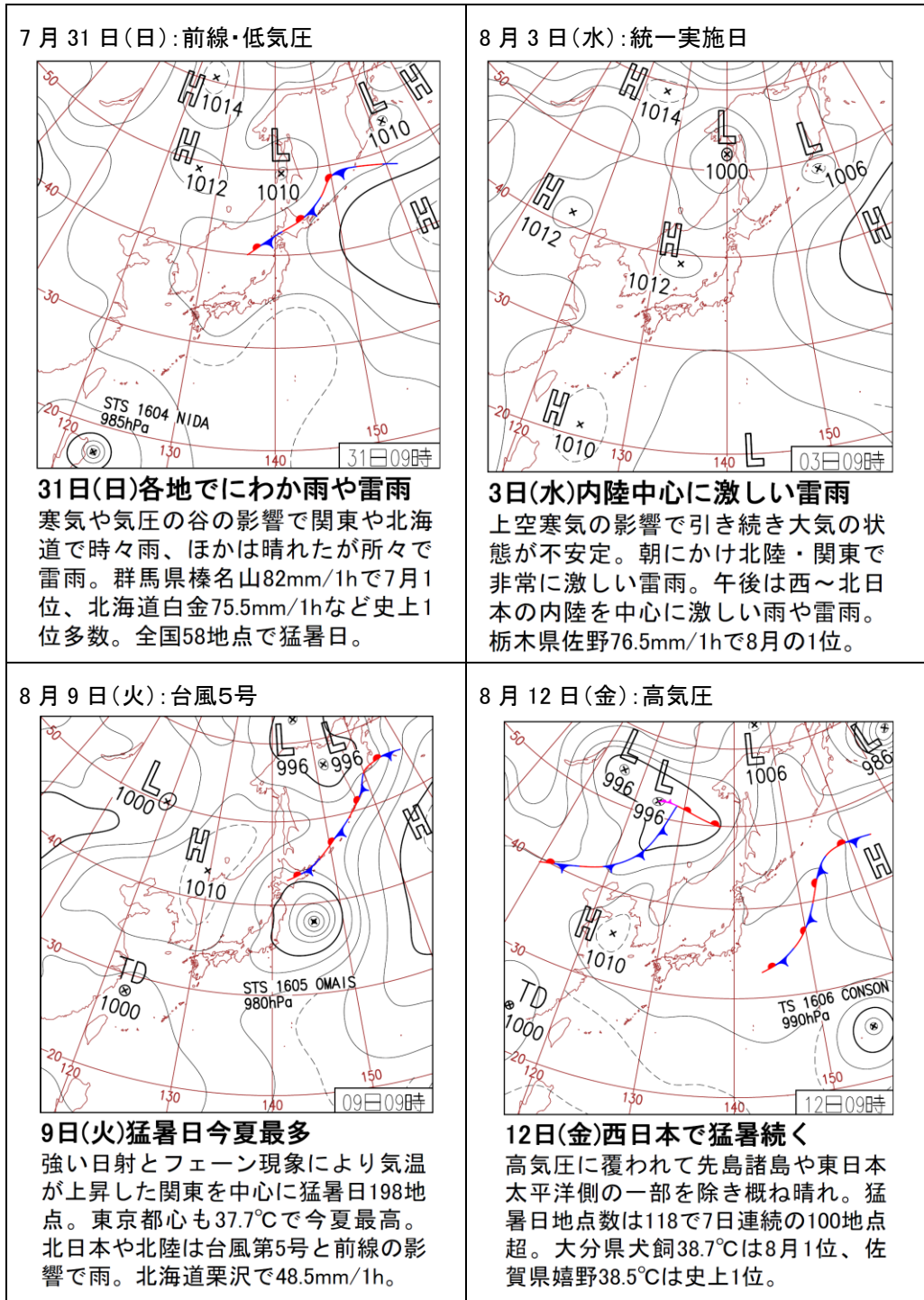
名古屋港の潮位は、通常の変動状況にあり、期間中の最低潮位は 7 月 22 日の 13 時に 22cm、最高潮位は、8 月 20 日の 19 時に 264cm を記録しました。



気象庁のデータから作成

図 4 一斉モニタリング時の気象・海象状況②(日照時間・潮位)

一斉モニタリング中の主な天気図を図 5 に示します。7月下旬から8月上旬にかけて、台風の影響は少ないものの前線の影響により東日本を中心に不安定な天気や雷雨が多くなりました。また、8月中旬は全国的に猛暑日が多くなりました。



気象庁ホームページより

図 5 一斉モニタリング時の主な天気図

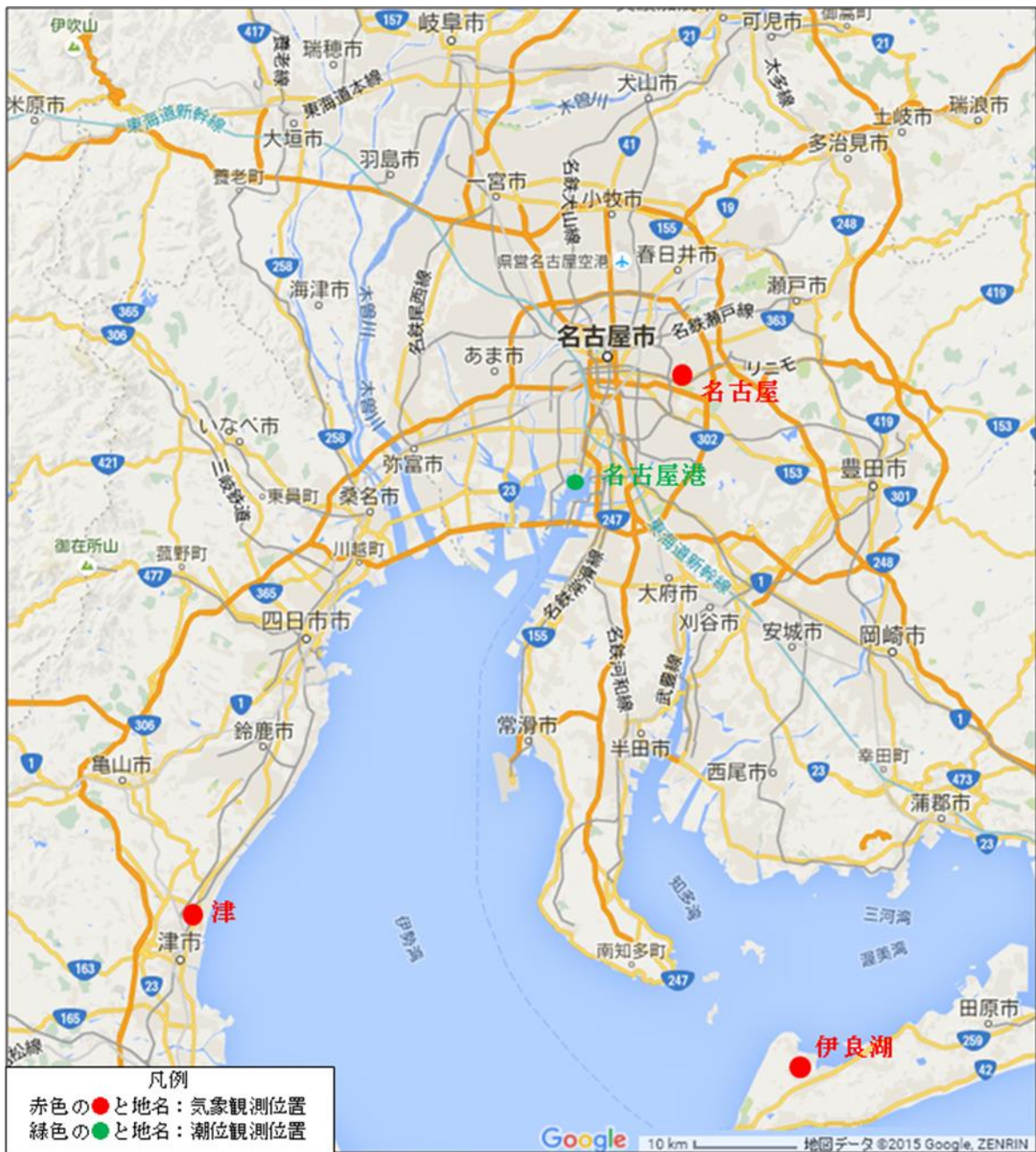


図 6 気象・海象観測位置(赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置)

3. モニタリング調査結果

3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の8項目を示します。

- ① BOD（生物化学的酸素要求量）
- ② COD（化学的酸素要求量）
- ③ pH
- ④ 全窒素
- ⑤ 全リン
- ⑥ DO（溶存酸素）
- ⑦ SS（浮遊物質）
- ⑧ 大腸菌群数

<水質指標が示すもの>

①BOD	河川水の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
②COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO（溶存酸素）	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS（浮遊物質）	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川水の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 7 BOD(分析による水質調査結果)

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっていますが、市街地を流れる河川や中小河川で 3mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

3mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の 9 割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 8 COD(分析による水質調査結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

5mg/L未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の8割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。

pH7 が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。



図 9 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に7付近の中性で、河川の観測値の多くが7付近となっています。河川の一部の地点では8以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなる場合があります。一方、海のpHは一般的に8前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は8以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 10 全窒素(分析による水質調査結果)

多くの河川の中下流部で 0.6 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.6mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、4 割程度を占めています。

全リン

水中のリンの量を示します。

リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 11 全リン(分析による水質調査結果)

全窒素と同様に、多くの河川の中下流部で 0.05 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.05mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、3 割程度を占めています。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。

溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。



図 12 DO(分析による水質調査結果)

一級河川（太い青線）では比較的高いですが、市街地を流れる中小河川で低い箇所も見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 13 SS(分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L以下となっており、河川の環境基準A類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。
水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。



図 14 大腸菌群数(分析による水質調査結果)

1000MPN/100ml 以上の値を観測している地点が見られます。し尿等による人為的由来によるものの他に、自然の土壌由来のものが含まれる場合もあるため、継続した監視が必要と考えられます。

3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、簡易水質テストとして以下の項目を調査していただきました。

<p><モニタリング調査項目> 水温、COD（化学的酸素要求量）、$\text{NH}_4^+\text{-N}$（アンモニウム態窒素）、$\text{NO}_2^-\text{-N}$（亜硝酸態窒素）、$\text{NO}_3^-\text{-N}$（硝酸態窒素）、$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$（りん酸態りん）、天気、水のきれいさ（色、にごり、におい）、水の量（量、速さ）、ごみの状況（場所、量）、生き物の状況（種類、量）、植物の状況（場所、量、種類）</p>

調査項目の内、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （りん酸態りん）の結果を図 15～図 19 に示しました。

また、見た目の水のきれいさを5段階で示していただいた結果を図 20 に示しました。

<水質指標が示すもの>

水質指標	水質指標が示すもの
① COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$	窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの発生原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり、濃度が高い場合、生活排水や工場排水、あるいは田畑から肥料分が流れて出ていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高く、汚れた水は $\text{NH}_4^+\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が10mg/L以下に設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸などにより供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの発生原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 15 COD(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

平成 27 年度調査結果と比較すると特に揖斐川流域において COD 値の上昇がみられます。

NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素)

窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-N は、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。

0.5mg/L 以上になると、生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えないとされています。



図 16 NH₄⁺-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、0.5mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

流域全体としては 0.5mg/L 未満の割合が経年的に 6~7 割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素)

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。



図 17 NO₂⁻-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、0.007mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.007mg/L未満の比較的良好な水質が占める割合は、経年的に3~4割程度で推移しています。

NO₃⁻-N (硝酸態窒素)

NO₃⁻-Nは、窒素の主な形態の一つです。きれいな水はNO₃⁻-Nの割合が高く、汚れた水はNH₄⁺-Nの割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-Nが多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-NとNO₃⁻-Nの合計が10mg/L以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 18 NO₃⁻-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、1.2mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

1.2mg/L未満の比較的良好な水質の占める割合は8割程度と高くなっています。

PO₄³⁻-P (りん酸態りん)

PO₄³⁻-P は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

りんのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 19 PO₄³⁻-P(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、0.11mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

水のきれいさ

調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（（悪い）1・2・3・4・5（良い））で評価しています。調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 20 見た目の水のきれいさ

市街地を流れる河川の一部や、湾奥部でも3以上の比較的水がきれいという評価がされており、見た目の印象は、COD等の調査結果よりもやや良い結果となっています。

また、一部の観測地点において、3未満の比較悪い評価が見られますが、市街地付近でも5の評価などきれいな水の評価がみられます。

3.3 一斉モニタリングの状況

【団体名：岐阜県神戸町民生部住民環境課】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【平野井川】



【菅野川】



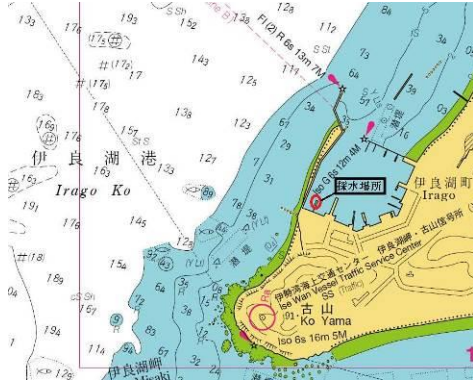
【奥川】



【団体名：第四管区海上保安本部（1/5）】

調査日：平成 28 年 8 月 9 日

【伊良湖港】



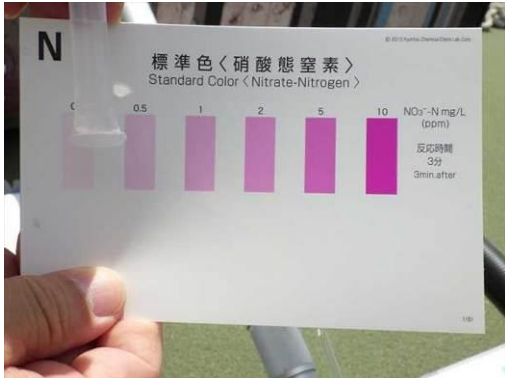
【衣浦港】



【団体名：第四管区海上保安本部（2/5）】

調査日：平成 28 年 8 月 9 日

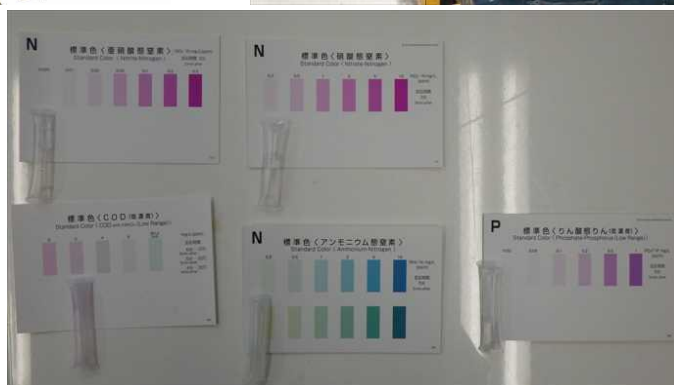
【常滑港】



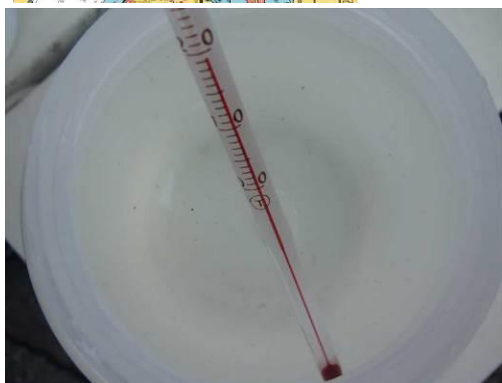
【団体名：第四管区海上保安本部（3/5）】

調査日：平成 28 年 8 月 9 日

【鳥羽港】



【名古屋港】



【団体名：第四管区海上保安本部（4/5）】

調査日：平成28年8月9日

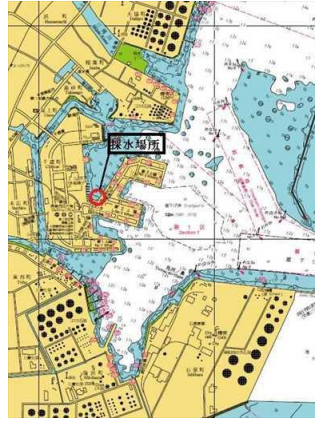
【三河港】



【団体名：第四管区海上保安本部（5/5）】

調査日：平成 28 年 8 月 9 日

【四日市港】



【団体名：岐南町】

調査日：平成 28 年 8 月 5 日

【境川】



境川の下流を望む



川面状況



水温 26.5℃ 気温 31.8℃



採水（濁度 臭気調査）



パケットによる水質調査状況



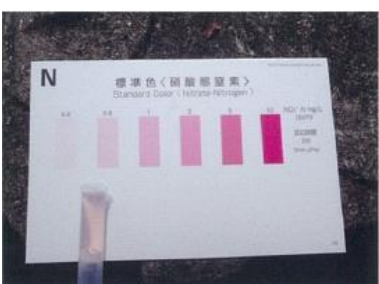
COD (8mg/L)



NH₄ (0.2mg/L)



NO₂ (0.005mg/L)



NO₃ (0.2mg/L)



PO₄ (0.1mg/L)



ヌートリア遊泳状況



調査員



【団体名：土岐市】

調査日：平成 28 年 7 月 26 日

【妻木川】

鶴里町中沢地区（妻木川上流）



【肥田川】

鶴里町濃南小学校駐車場付近（肥田川上流）



水生生物調査時の採取生物（鶴里町濃南小学校駐車場付近にて）



【団体名：御嵩町】

調査日：平成 28 年 7 月 27 日

【可児川】



ph・COD 調査-1



西田



西田



西田



透視度調査-1



美佐野



美佐野

【団体名：四日市港管理組合（1/3）】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【St-20】



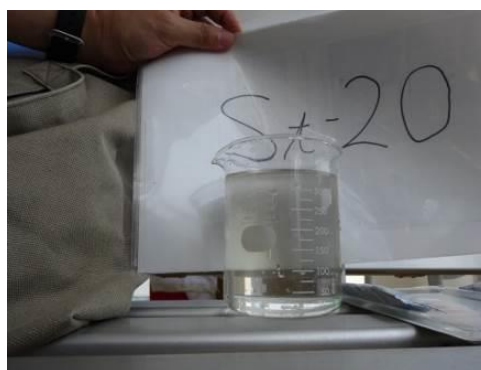
調査地点の状況、ゴミの状況



簡易テスト比色時



調査実施状況



調査実施状況

【St-21】



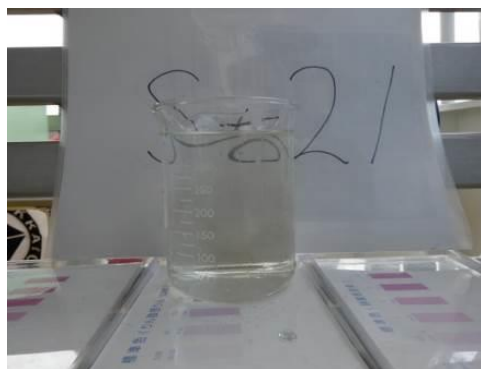
調査地点の状況、ゴミの状況



簡易テスト比色時



調査実施状況



調査実施状況

【団体名：四日市港管理組合 (2/3)】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【St-25】



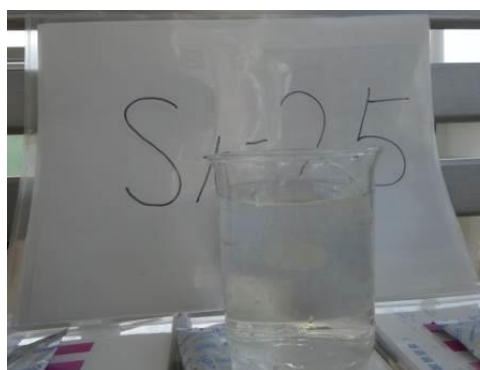
調査地点の状況、ゴミの状況



簡易テスト比色時



調査実施状況



調査実施状況

【St-30】



調査地点の状況、ゴミの状況



簡易テスト比色時



調査実施状況



調査実施状況

【団体名：四日市港管理組合 (3/3)】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【St-31】



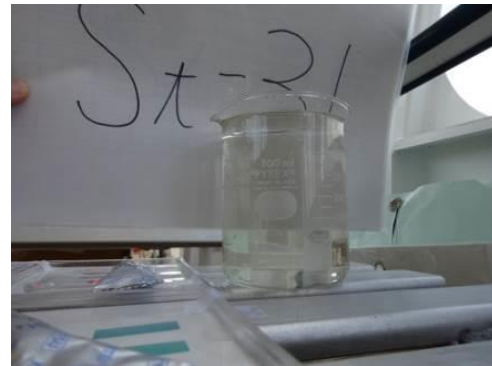
調査地点の状況、ゴミの状況



簡易テスト比色時



調査実施状況



調査実施状況

【団体名：イーツーワン（環境 21 期会）】

調査日：平成 28 年 7 月 29 日

【堀川】



【団体名：梅田川フォーラム事務局】

調査日：平成 28 年 7 月 17 日

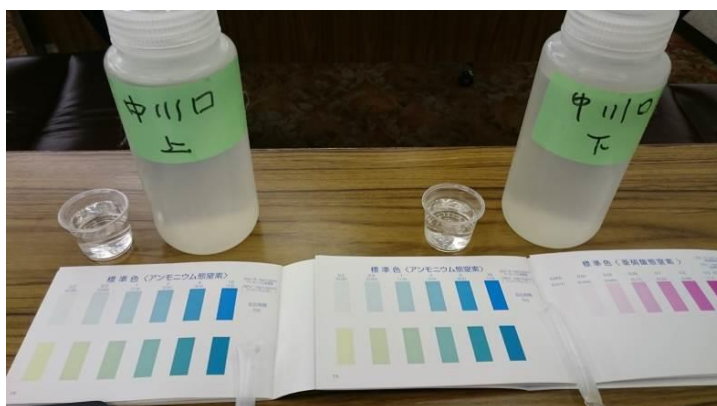
【梅田川】



【団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム】

調査日：平成 28 年 7 月 29 日

【中川運河いろは橋】



【団体名：NPO 法人藤前干潟を守る会】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【庄内川・新川】



庄内川 カルガモの親子



庄内川 曇り空 南東の風



庄内川（右岸）7月よりヨシの調査開始



庄内川（右岸）ヨシの衰退部



庄内川（右岸）可児の巣穴が増えた



庄内川から新川を見る（右岸）



中堤防 右：新川 左：庄内川



新川（左岸）

【団体名：扇川を愛する緑の会（1/2）】

調査日：平成 28 年 7 月 31 日

【扇川（干潮時）】



扇川（上流）干潮時



扇川（下流）干潮時



透視度測定



水質調査



コイ・カメ



コイ



ごみ調査

【扇川（満潮時）】



扇川（上流）満潮時



扇川（下流）満潮時



ごみ



ペットボトル



右岸小公園

【団体名：扇川を愛する緑の会（2/2）】

調査日：平成 28 年 7 月 31 日

【扇川（大地）】



大池 採水地点



大池 全景



大池 扇川側



大池 水の色

【団体名：大垣市生活学校】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【水門川】



【団体名：金山町生活学校】

調査日：平成 28 年 7 月 28 日、8 月 1 日、8 月 6 日

【菅田川】

菅田橋下



【飛騨川】



【団体名：可児市めだかの楽校】

調査日：平成 28 年 8 月 6 日

【可児川】



中部大学・村上教授によるパワーポイントをみながらの講評（2016年8月6日）



参加者全員で川に入って“き物探し”（2016年8月6日）

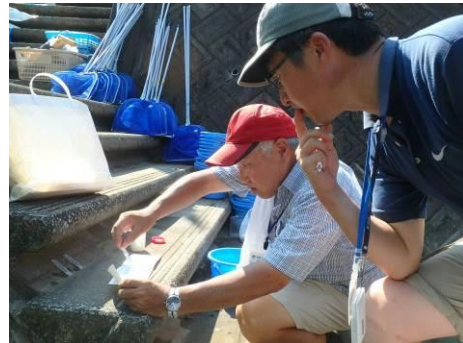
【団体名：川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画】

調査日：平成 28 年 7 月 31 日、8 月 7 日

【堀川】



河川の状況（平成 28 年 7 月 31 日）



調査実施状況（平成 28 年 7 月 31 日）



河川の状況（平成 28 年 8 月 7 日）



調査実施状況（平成 28 年 8 月 7 日）

【団体名：雲出川愛護モニター（1/6）】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【中村川】



堰堤下流 護岸堤防はコンクリート

堰堤・魚道・橋脚はコンクリート



水量・流れがあり風景もよい

低・中木の植物が多く景観はよい

【団体名：雲出川愛護モニター（2/6）】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【阪内川】



阪内川親水公園上流 樹木が多い



採水場所は濁りもなく川底が見えます

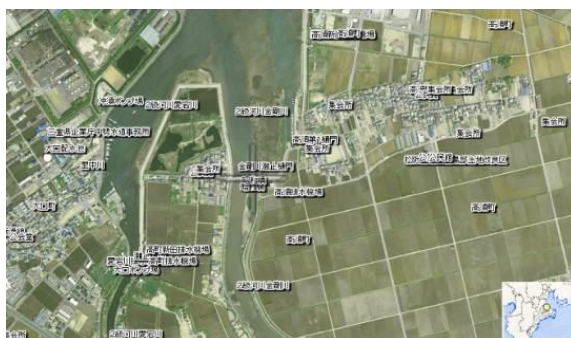


水面にはカルガモが…野鳥も多く景観は概ね良好

【団体名：雲出川愛護モニター（3/6）】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【金剛川】



樋門を境に植物群に変化が観られる

塩生植物・北限のハマボウ開花



干潮時の砂浜にはカニの巣穴が…

アシの周辺には生活ごみが少し集積

【団体名：雲出川愛護モニター（4/6）】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【愛宕川】



愛宕川潮止通門 流れが無くヘドロ臭

上流部は耕作地を控え農薬の影響懸念



潮止通門下流部ではボラの稚魚が



自然に戻らない石油製品が集積

【団体名：雲出川愛護モニター（5/6）】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【三渡川】



三渡川左岸アシ群に覆われ水質浄化か

水深は浅くシジミ・アサリが多い



稚魚(ボラ)の群れも多く確認できます



千貫通門周辺での干潟地はヘドロ堆積

【団体名：雲出川愛護モニター（6/6）】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【雲出川】



採取場所下流は玉石・砂地で景観は良い

台風時に肥沃な土砂が堆積。植物繁茂



新井堤周辺はコンクリートで施設管理

地表温が高いが水面が安らぎを与える

【団体名：港栄第一エコクラブ】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日、31 日

【名古屋港】

堀川河口部（堀川右岸）



中川運河いろは橋左岸



中川運河通船門左岸



調査地点を少々移動しました



港栄第一エコクラブ調査地点

- 1.港区熱田前新田中川渠 中川運河口部
- 2.港区熱田前新田中川渠 中川運通船門周辺
- 3.港区千鳥1丁目 堀川河口部



【団体名：鯉城・堀川と生活を考える会】

調査日：平成 28 年 8 月 5 日



【団体名：十四川を守る会（1/2）】

調査日：平成 28 年 8 月 2 日

【十四川】



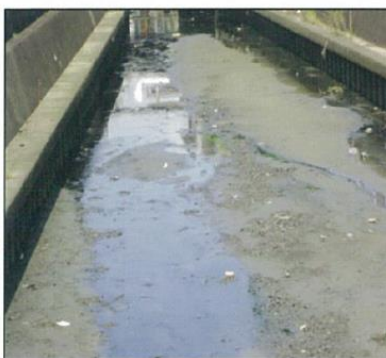
十四川河口「豊栄橋」



西方より豊栄橋を望む



豊栄橋より西方を望む



今年は水量が少ない河口



水温測定



左・十四川の水。 右・水道水



メンバーによる水質調査



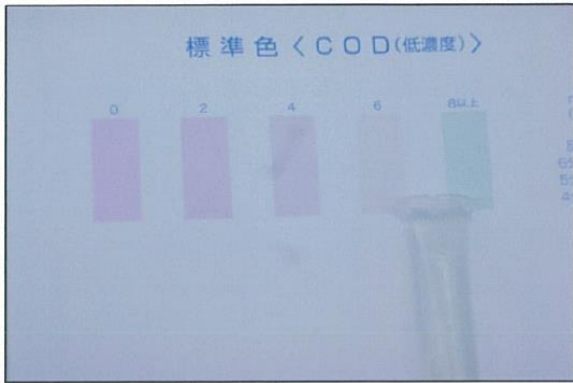
メンバーによる水質調査



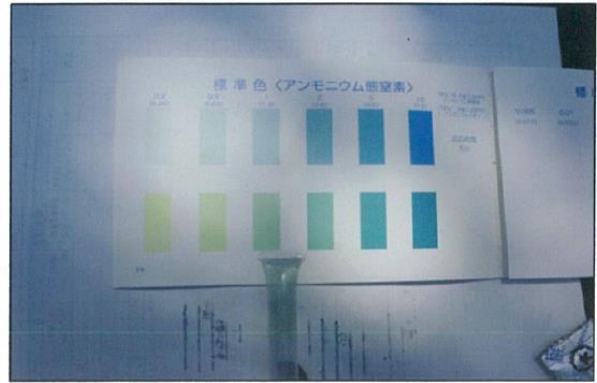
水質検査を終えて談笑

【団体名：十四川を守る会 (2/2)】

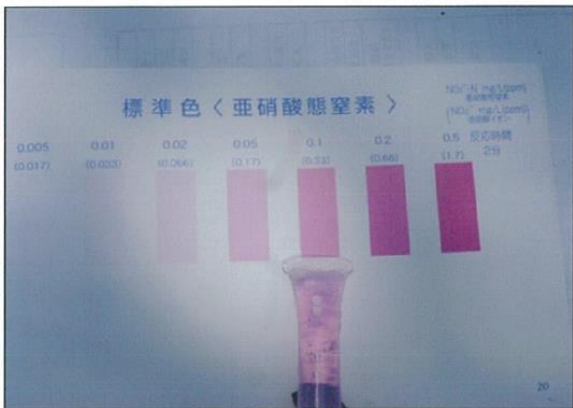
調査日：平成 28 年 8 月 2 日



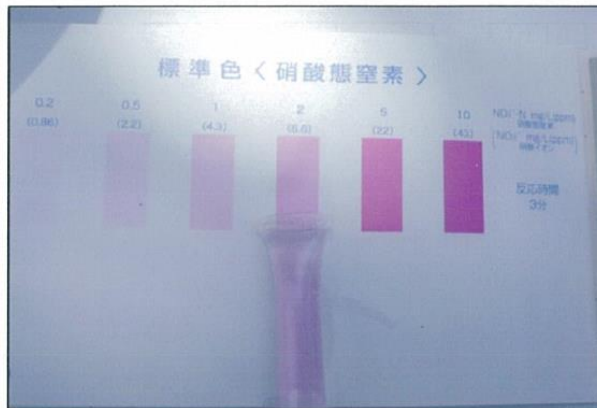
COD(低濃度)



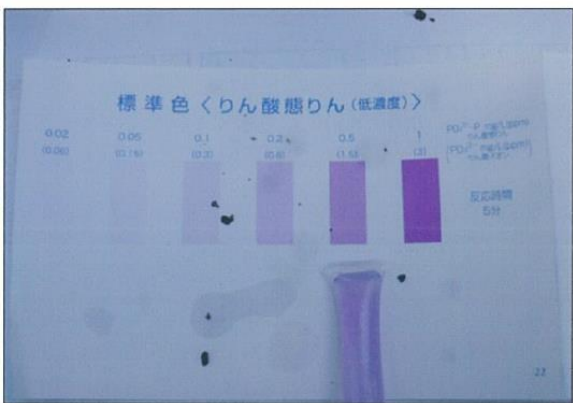
アンモニウム態窒素



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



りん酸態りん (低濃度)



十四川

水質調査場所(豊栄橋)

【団体名：庄内川・川ナビ歩こう会】

調査日：平成 28 年 8 月 2 日

【矢田川】

守山区（矢田川橋下流）



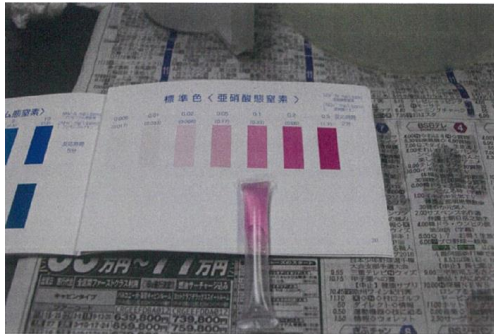
北区（ふれあい橋下流）



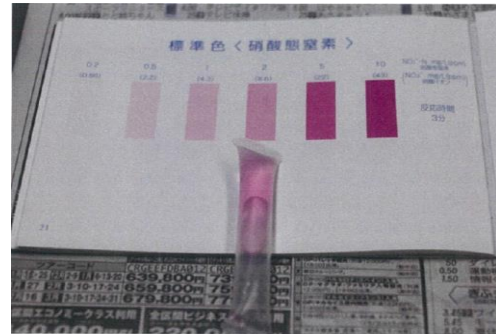
【団体名：白鳥庭園】

調査日：平成 28 年 7 月 27 日

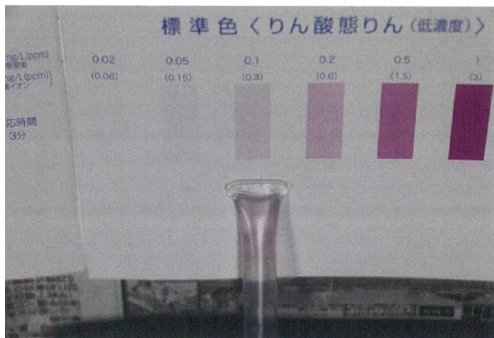
【堀川】



亜硝酸態窒素



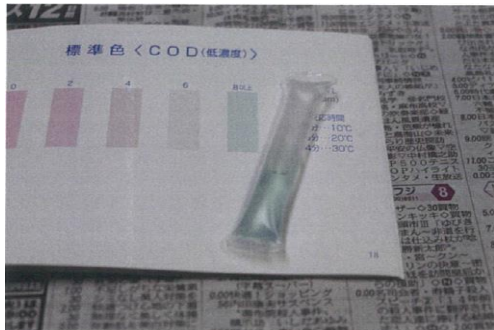
硝酸態窒素



リン酸態リン



アンモニウム態窒素



COD



堀川の様子



水のきれいさ



堀川の様子 ゴミが浮いている



フジツボ・フナムシが見られる

【団体名：スティッチ】

調査日：平成 28 年 7 月 31 日

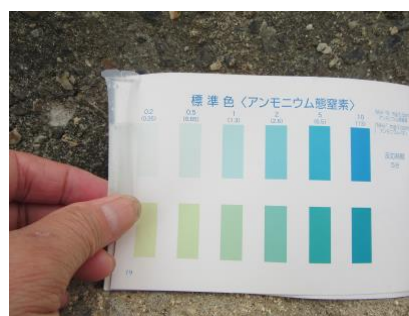
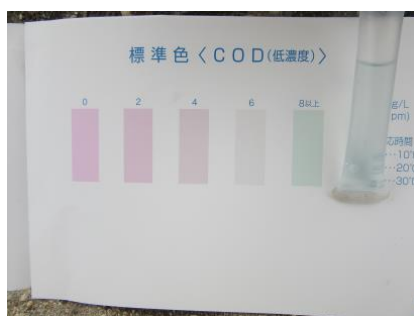
【加瀬田川】



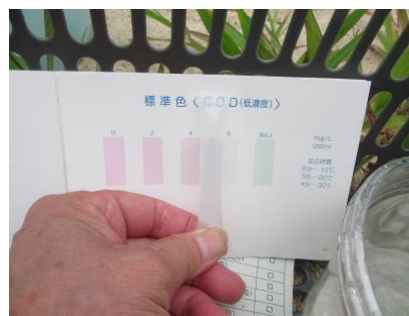
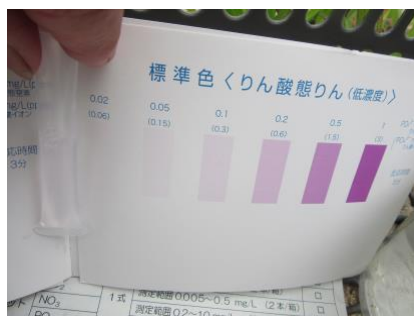
【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成 28 年 8 月 1 日

【朝明川河口付近】



【高松海岸】



【団体名：瑞穂鯉城クラブ】

調査日：平成 28 年 8 月 14 日

【香流川】



【団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ】

調査日：平成 28 年 7 月 30 日

【西鹿乗川】



【団体名：みどりのまちづくりグループ】

調査日：平成28年8月2日

【感想】 今回の、「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」について、感じたことなど記入してください。

みどりのまちづくり
グループが2,300
㎡に1,000本植樹



大谷川源流

泉橋（大谷川、内津川合流）

五反田橋

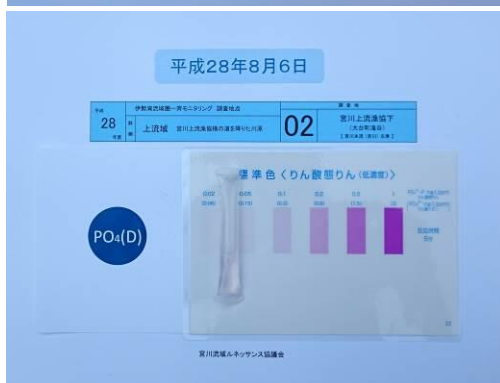
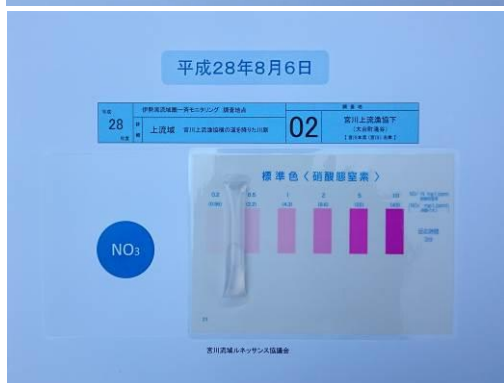
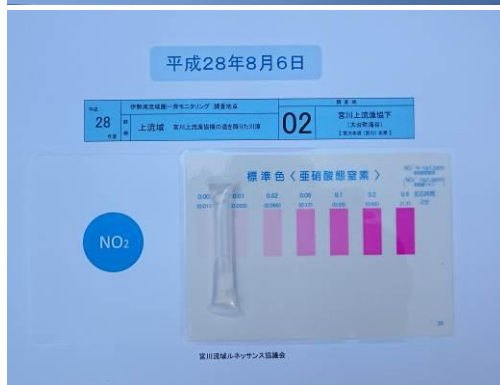
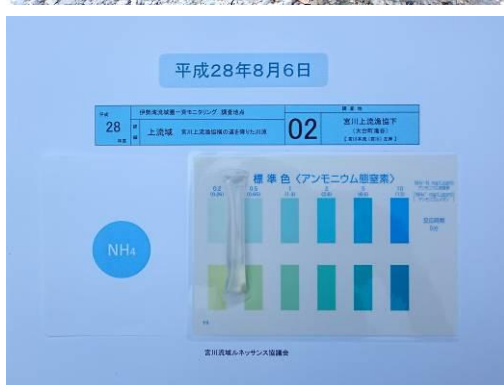
庄内川上条河畔林

【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（1/9）】

調査日：平成28年8月6日

【宮川】

宮川上流漁協下（大台町滝谷）

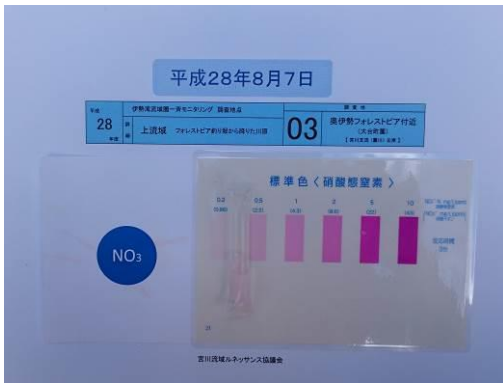
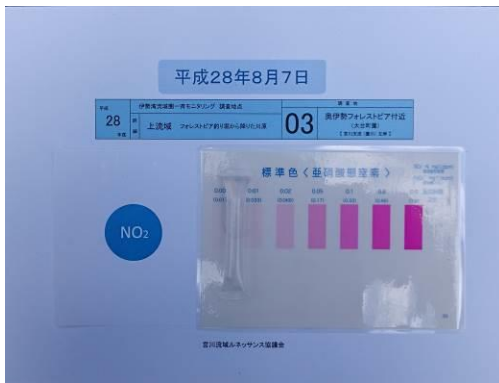


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（2/9）】

調査日：平成28年8月6日

【菌川】

奥伊勢フォレストピア付近（大台町菌）

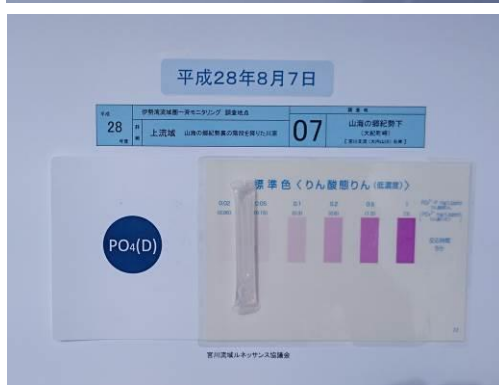
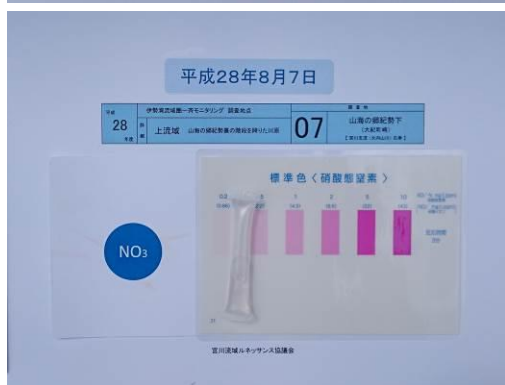
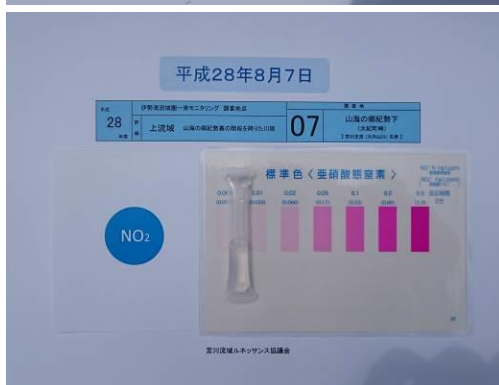
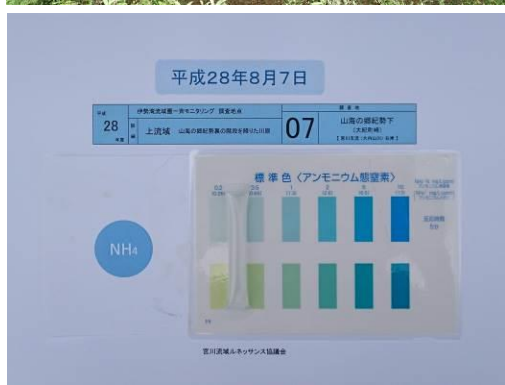


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（3/9）】

調査日：平成28年8月6日

【大内山川】

山海の郷紀勢下（大紀町崎）

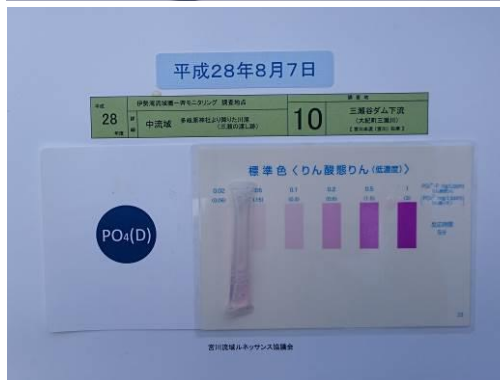
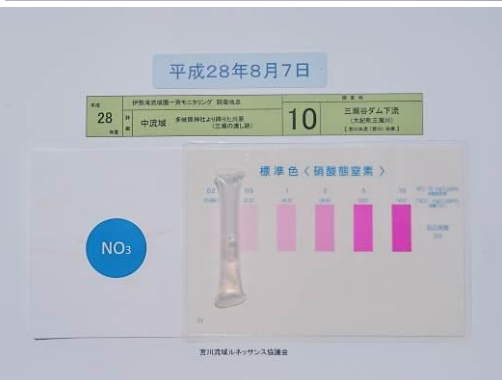
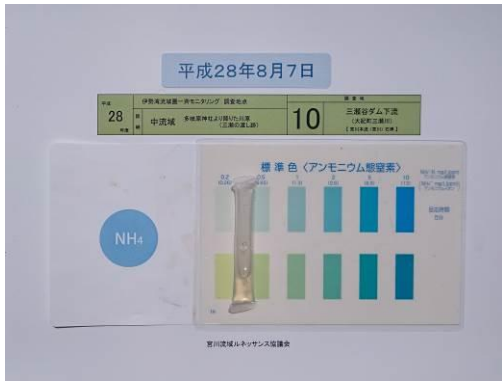


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（4/9）】

調査日：平成28年8月6日

【宮川】

三瀬谷ダム下流（大紀町三瀬川）

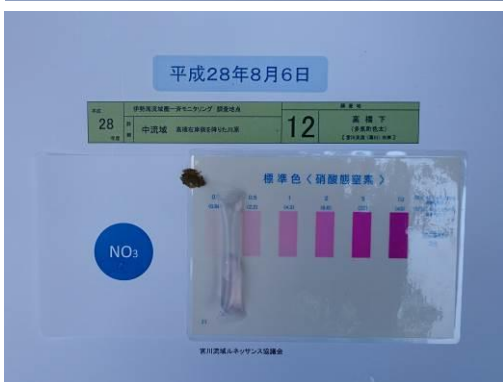
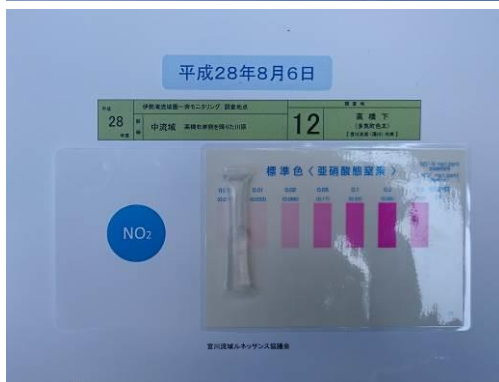
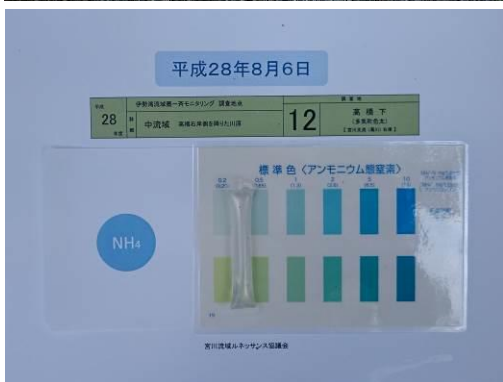
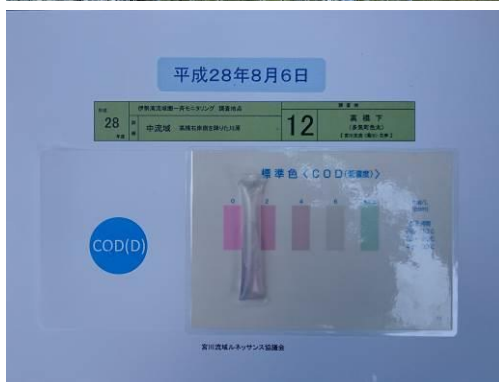


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（5/9）】

調査日：平成28年8月6日

【濁川】

高橋下（多気町色太）

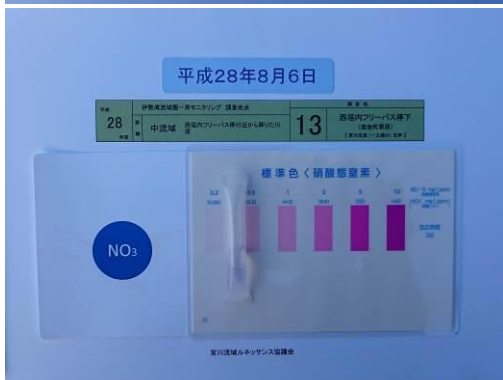
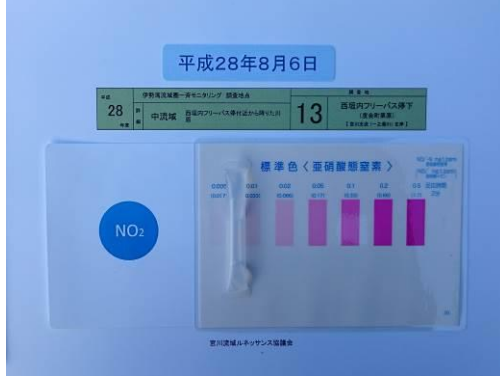
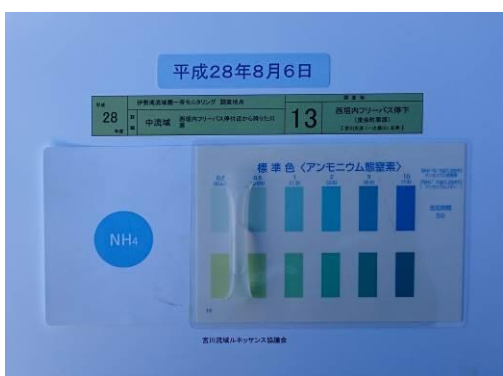
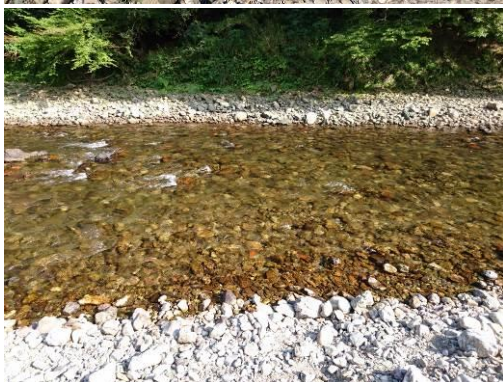


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（6/9）】

調査日：平成28年8月6日

【一之瀬川】

西垣内フリーバス停下（度会町栗原）

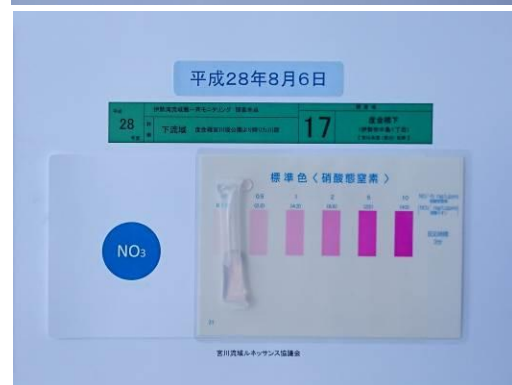
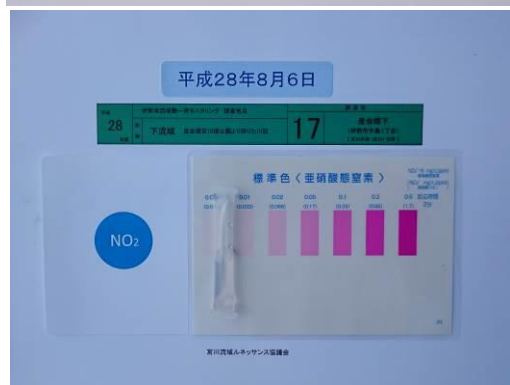
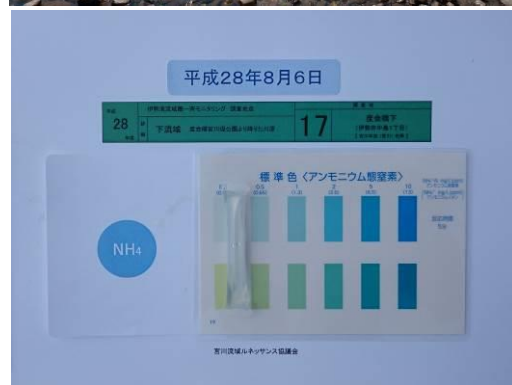
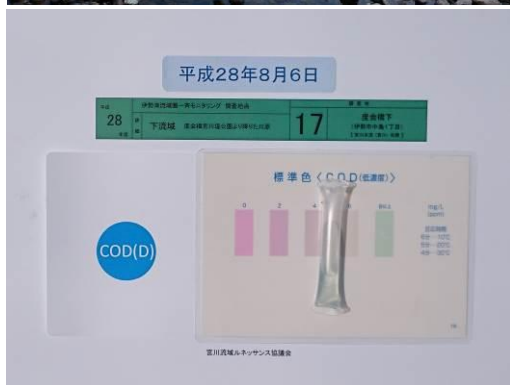


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（7/9）】

調査日：平成28年8月6日

【宮川】

度会橋下（伊勢市中島1丁目）

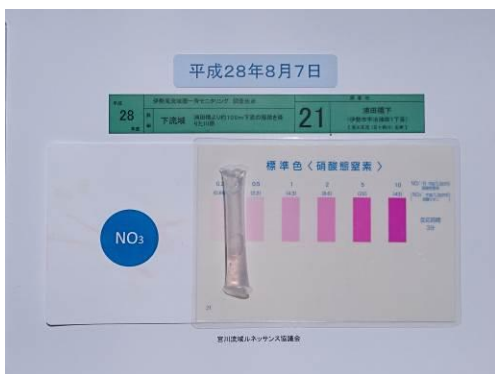
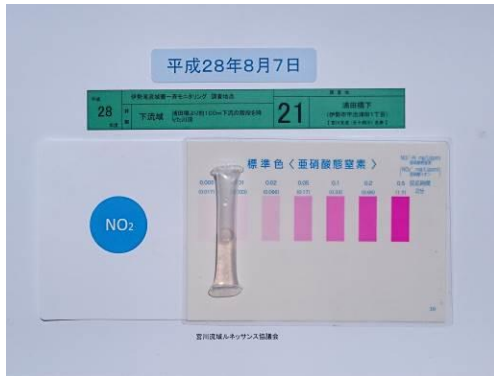
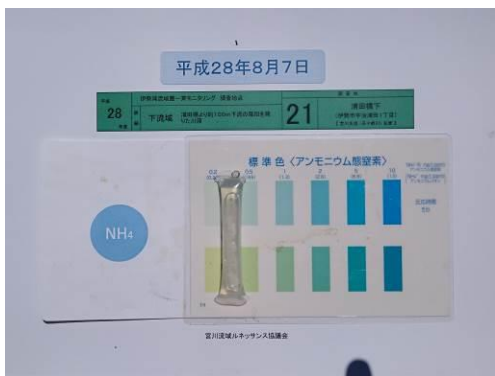


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（8/9）】

調査日：平成28年8月6日

【五十鈴川】

浦田橋下（伊勢市浦田町）

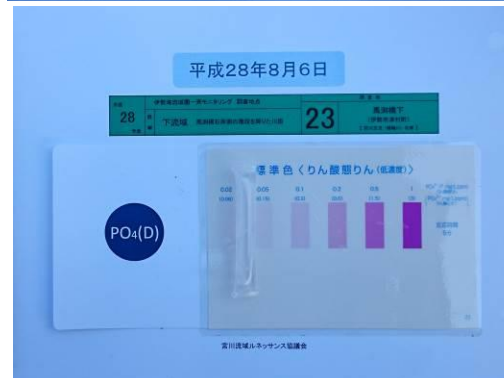
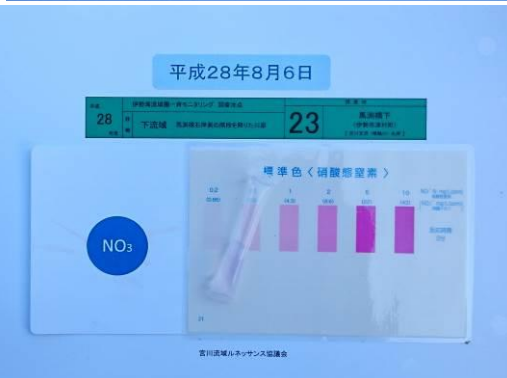
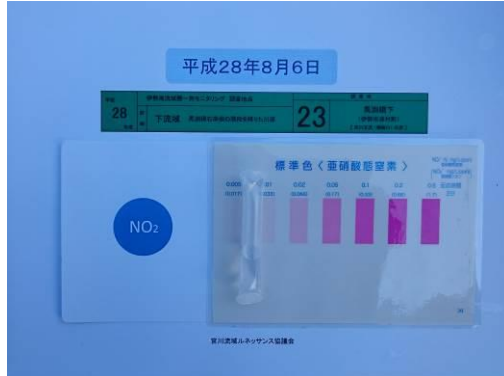
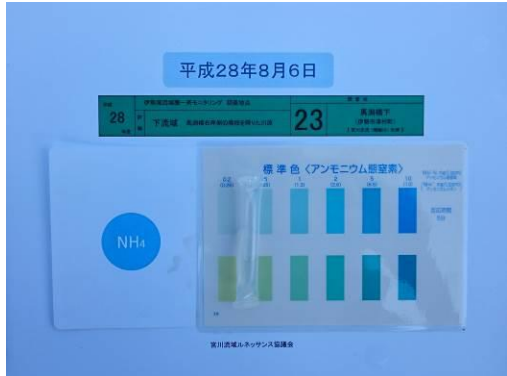


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（9/9）】

調査日：平成28年8月6日

【横輪川】

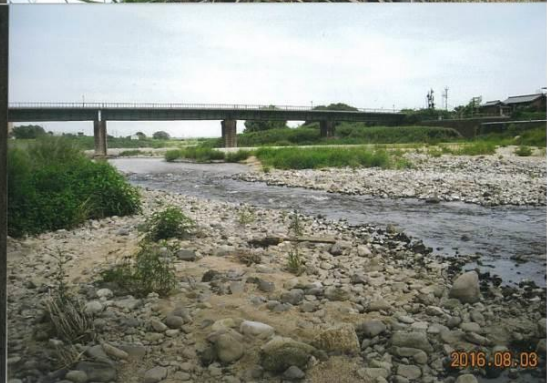
馬淵橋下（伊勢市津村町）



【団体名：やすらぎくんネット】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【鈴鹿川】



【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会（1/4）】

調査日：平成 28 年 8 月 1 日、4 日

【庄内川】

松川橋



COD



COD 高濃度



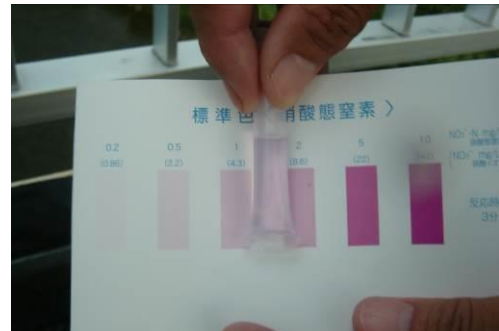
アンモニウム態窒素



リン酸態リン



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



硫化物（硫化水素）



採水地点

【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会 (2/4)】

調査日：平成 28 年 8 月 1 日、4 日

庄内橋



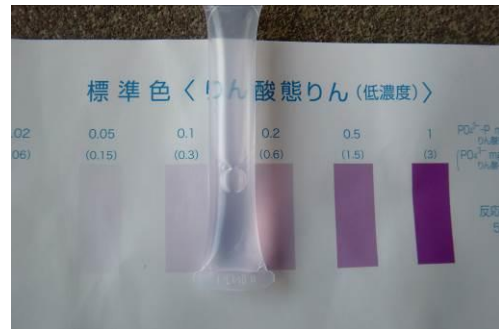
COD



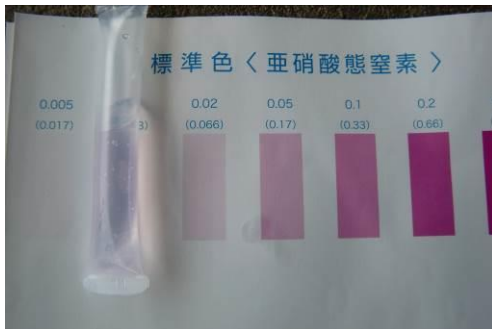
COD 高濃度



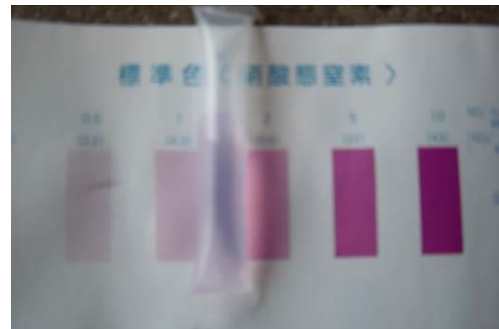
アンモニウム態窒素



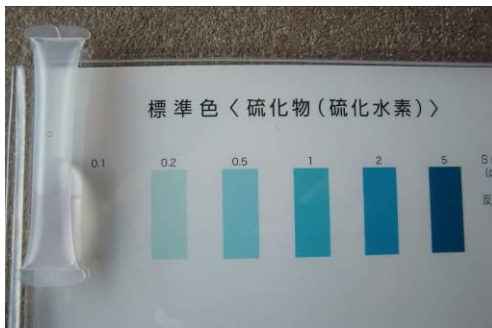
リン酸態リン



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



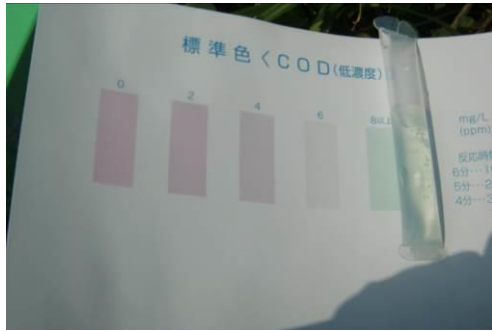
硫化物 (硫化水素)



【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会（3/4）】

調査日：平成 28 年 8 月 1 日、4 日

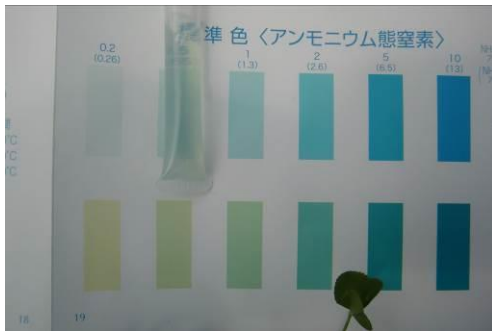
水分橋



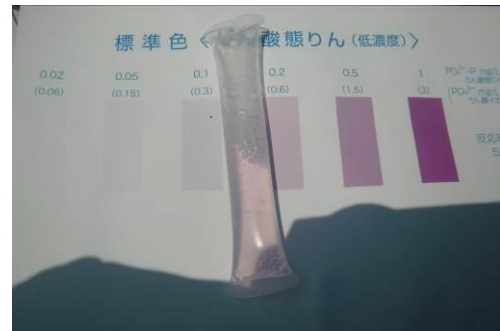
COD



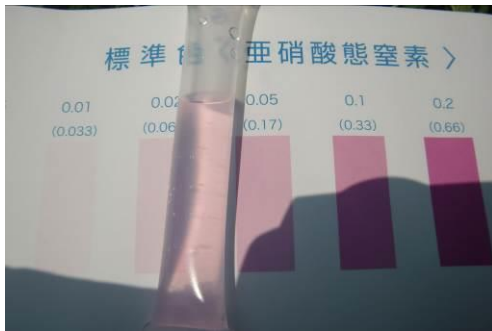
COD 高濃度



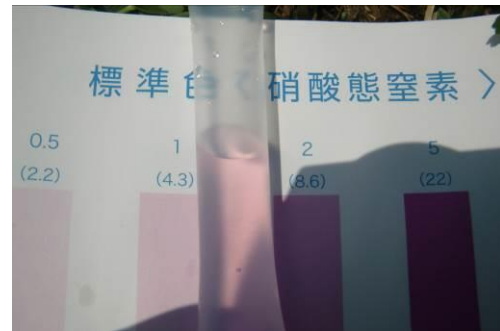
アンモニウム態窒素



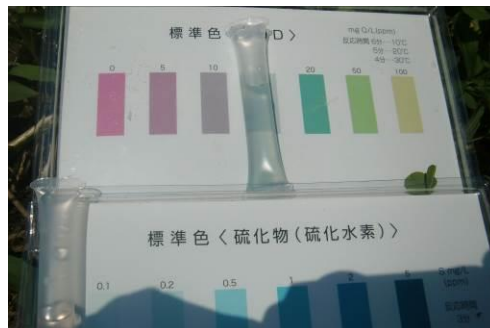
リン酸態リン



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素

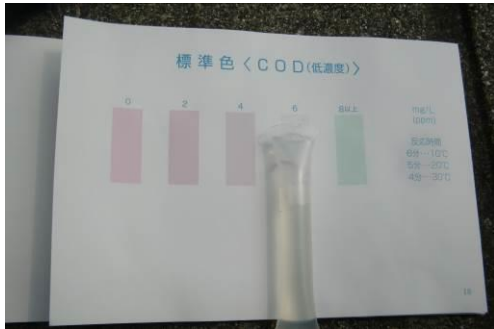


硫化物（硫化水素）

【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会（4/4）】

調査日：平成 28 年 8 月 1 日、4 日

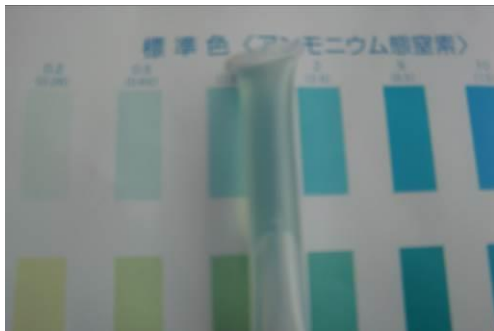
八田川



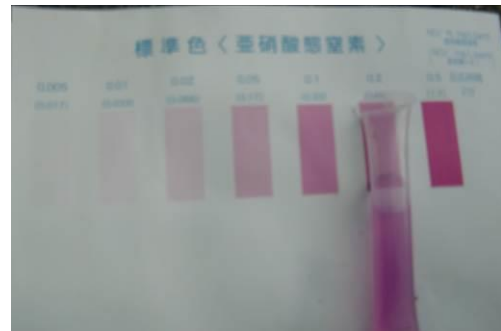
COD



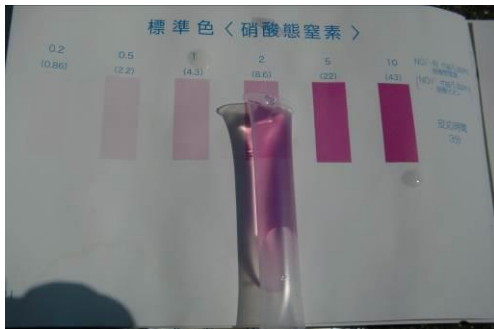
COD 高濃度



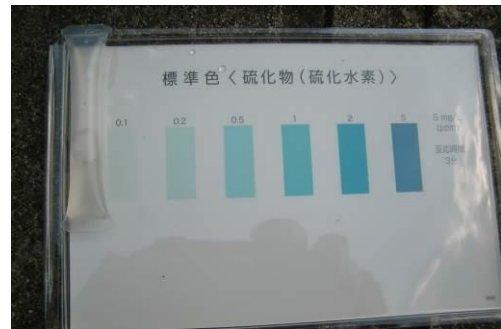
アンモニウム態窒素



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



硫化物 (硫化水素)



採水地点

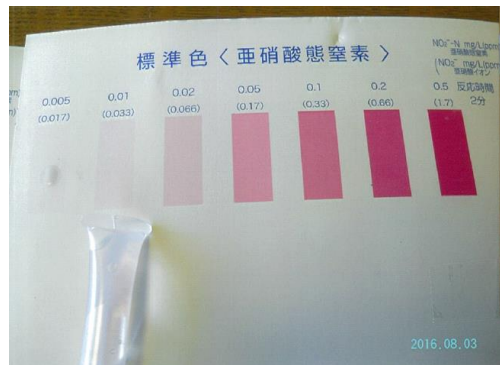
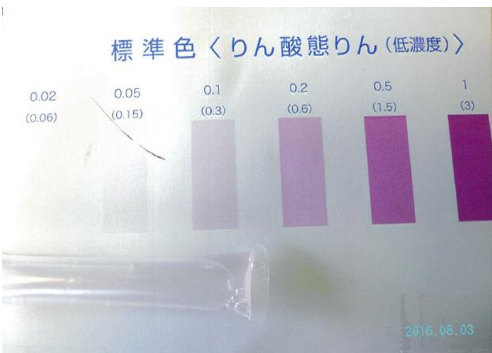
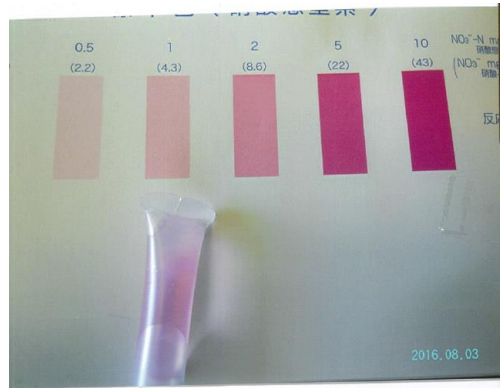
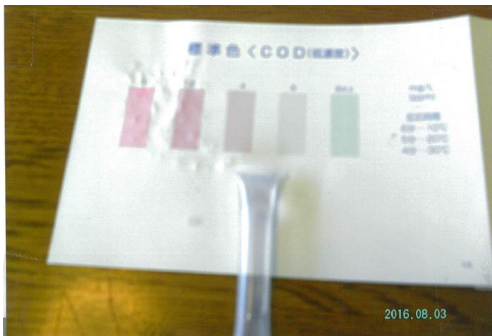
【団体名：養老町生活と環境を考える会（1/2）】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【小畑川】



白はえの群



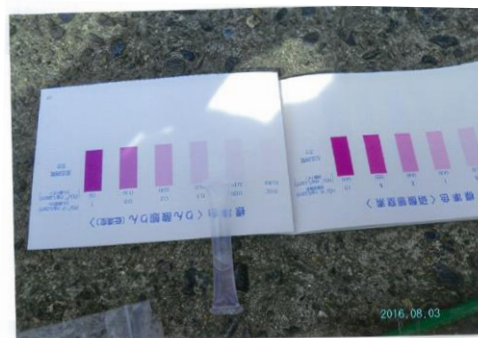
【団体名：養老町生活と環境を考える会 (2/2)】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【牧田川】



めだかの姿がみられます



【団体名：四つ葉会】

調査日：平成 28 年 7 月 27 日

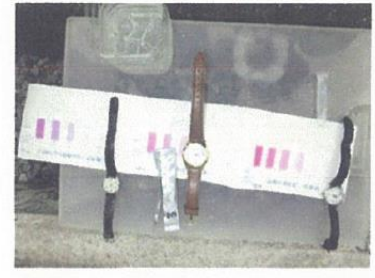
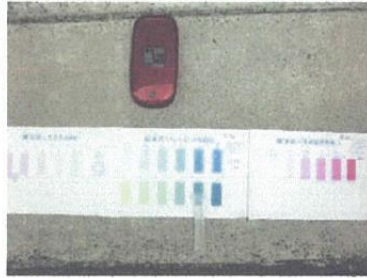
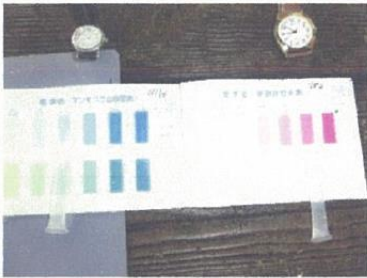
【東川】



【中川】



【杭瀬川】

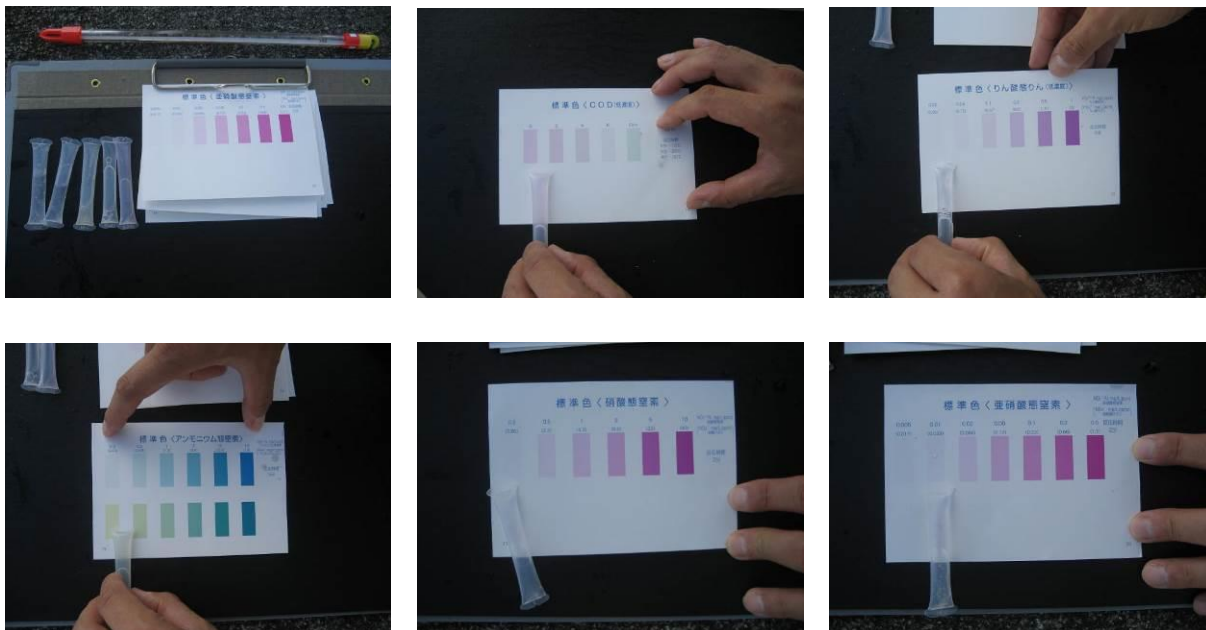


【団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会】

調査日：平成 28 年 8 月 12 日

【岩田川】

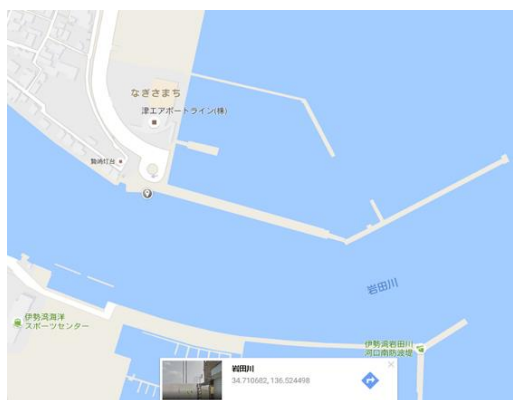
簡易テスト比色時の写真



調査地点の写真及び調査実施状況写真

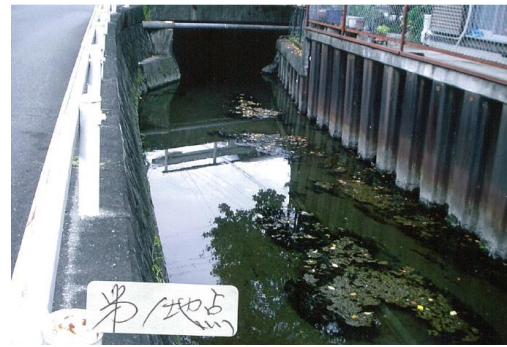


調査地点の地図



【団体名：論田川を美しくする会】

調査日：平成 28 年 8 月 4 日



第1地点



第2地点



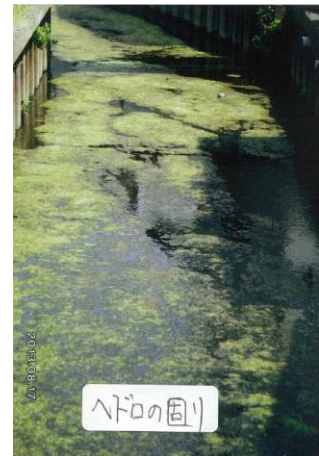
第3地点



第3地点南
川
望丸



50本程
植え入れ



へどの固り



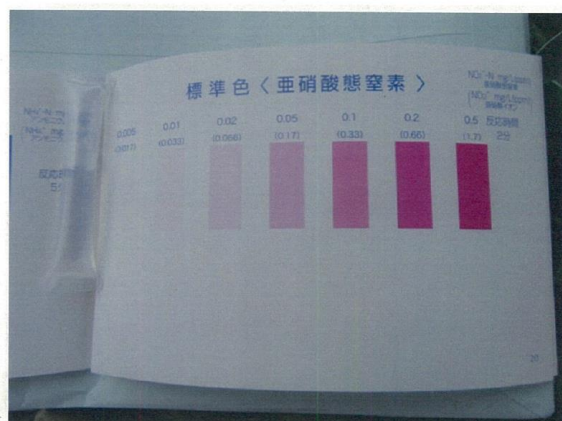
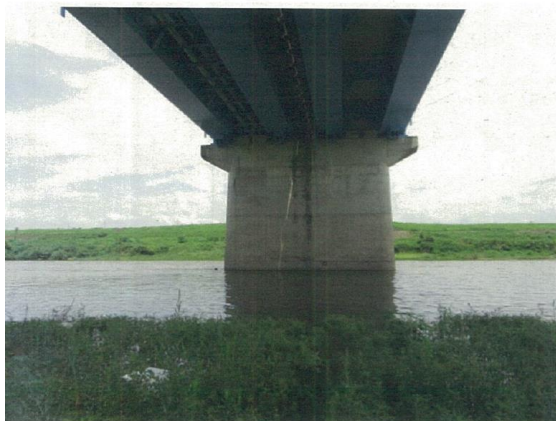
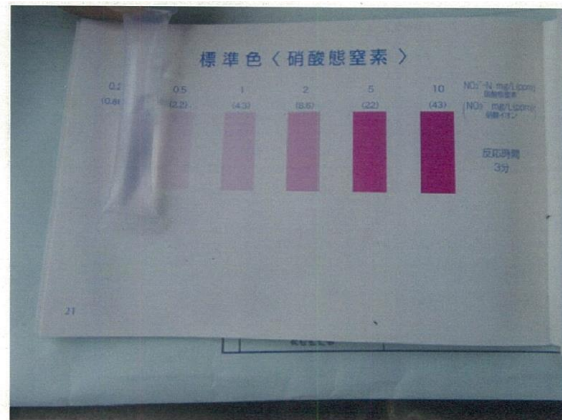
許可は発行
済みの苗入れ



【団体名：小塩通信株式会社（1/2）】

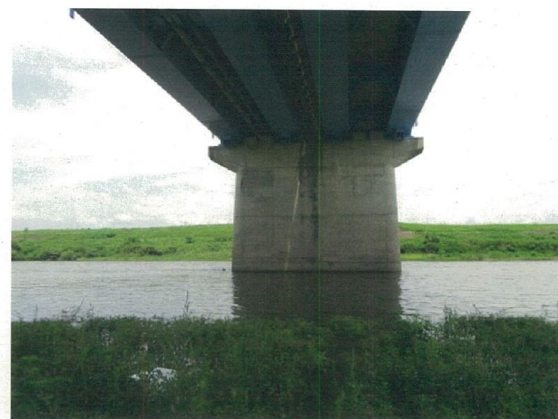
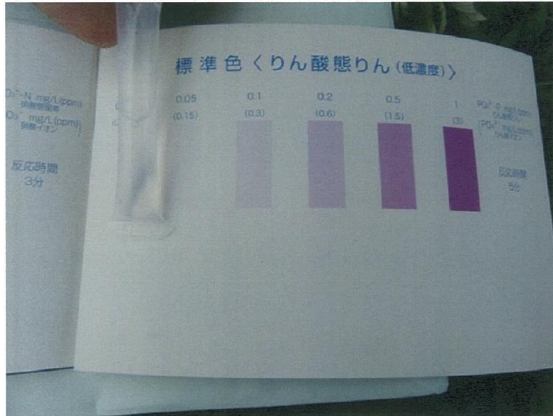
調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【長良川左岸】



【団体名：小塩通信株式会社 (2/2)】

調査日：平成 28 年 8 月 3 日



【団体名：神野建設株式会社】

調査日：平成 28 年 8 月 2 日

【渥美湾】



伊良湖



伊川津



白浜

【三河湾】



海陽①



海陽②



海陽③



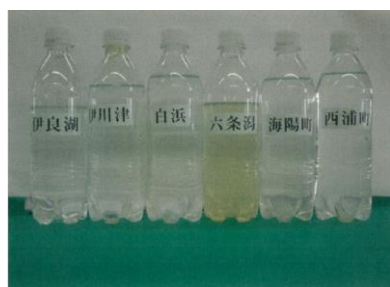
海陽④



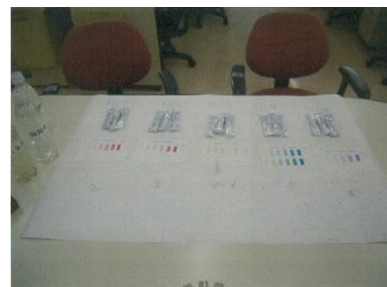
西浦①



西浦②



濁り比較



簡易テスト

【東芝プラントシステム株式会社】

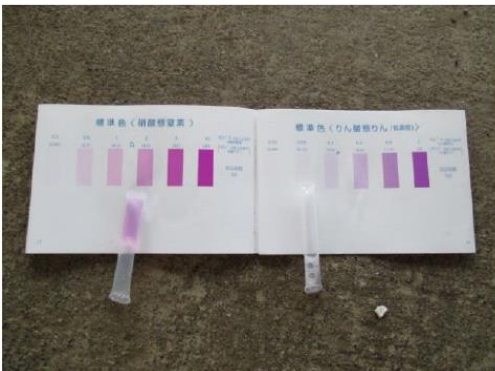
調査日：平成 28 年 8 月 3 日

【庄内川】

放流口付近



新名西橋付近



【団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会】

調査日：平成 28 年 8 月 5 日

【名古屋港西部】
透明度調査



採水・水温



採水完了



パックテスト



パックテスト完了



【団体名：光陵中学校自然科学部】

調査日：平成 28 年 8 月 1 日

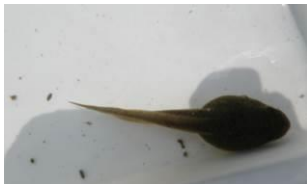
【員弁川】



河川風景



調査風景



ウシガエル



カワヨシノボリ



コオイムシの仲間



タイコウチ



トビケラ・カゲロウ類



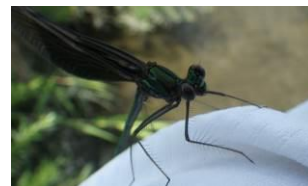
ヌマエビの仲間



ヨシノボリ卵



モクズガニ



ハグロトンボ

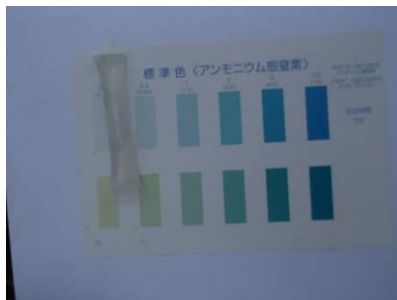
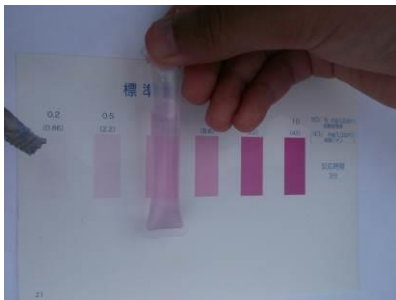
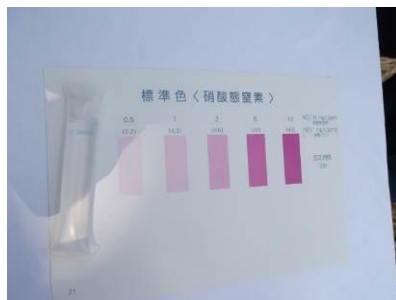
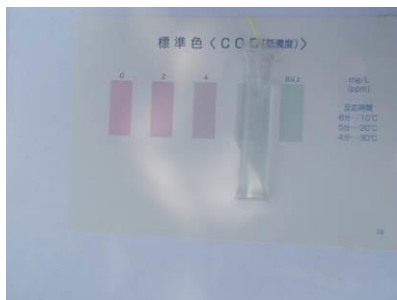


COD 結果

【団体名：四日市市立山手中学校】

調査日：平成 28 年 8 月 4 日

【海蔵川】



3.4 ゴミ調査結果

【団体名：清水川を愛する会（1/3）】

調査日：平成 28 年 6 月 25 日

① 調査情報（必須）

調査日時	6月25日 9時頃	天気	はれ・くもり・あめ
調査者名	9名の平均です。		
調査団体名 (学校名)	清水川を愛する会 (参加人数 9人)		
調査地点	市町村	岐阜市加納西丸町	河川名 新花園川
※町名：名字と合わせて、目標物となる橋や公的な建物の名称を記入してください。 岐阜市加納三之丸 気象台前			

② 河川評価シート

※1 上記各項目において該当する評価(A~D)を判定し、判定欄にはその評価に相当する点数を記載する。
なお、評価できない項目、評価しなかった項目については、記載の必要はない。
※2 泡については、500mlのペットボトルに2-3割水を入れて、30回振った際の状態を記載する。

評価項目	A 10点	B 6点	C 2点	D 0点	判定 (項目ごとに点数を記入)
川底の見え方	川底が明確に見える。	川底が見える。	川底がわずかに見える。 少し濁っている。	川底が全く見えない。 大変濁っている。	0.67
におい	きれいな川特有の香りがする	川特有の香りがする。 不快なおいがない。	水に鼻を近づけて、 不快なおいを感じる。 風下の水際に立つと、 不快なおいを感じる。	風下の水際に立つと、 とても不快なおいを感じる。	2.22
川底の状態	全く滑らない、 またわずかに滑る。 泥・ヘドロの堆積はない。 裸足で入りたくなる。	ところどころ滑る。 泥・ヘドロの堆積はない。 裸足で入ってもよい。	ヌルヌルする。 ミスワタ・泥・ヘドロ が少し堆積している。 裸足で入りたくない。	ヌルヌルする。 ミスワタ・泥・ヘドロ が多く堆積している。 裸足で入るのはイヤだ。	2.0
ゴミの量	川の中や水際にゴミは 見当たらない。	川の中や水際にゴミは ほとんど見当たらない、 または少量である。	川の中や水際にゴミが あって、不快である。	川の中にゴミがあつて、 とても不快である	3.11
泡	泡がない。 ペットボトルに水を入 れて振っても泡立たない。	わずかに泡がある。 ペットボトルに水を入 れて振ると、泡がすぐに 消える。	泡が多い。 ペットボトルに水を入 れて振ると、泡が少した つと消える。	泡が非常に多い。 ペットボトルに水を入 れて振ると、泡がな かなか消えない。	6.44
油	水面に汚れが全くない。	よく見ると、気になる。	キラッキが目立つ。	蓄しくキラキラしている。	4.67
見かけた生き物の種類		川の様子			合計
コイ、カメ(ヨシニッコウカメシガメ)		前日あ雨でツレ増水して いる、いつも見かけるゴミは 流れていった。			19.11点
サワウ					平均点 3.19点
総合評価	A とてもきれい	B きれい	C 少し汚くない	D 大変汚くない	調査した河川の評価
平均点 (小数点以下切り捨て)	10点~8点	7点~5点	4点~2点	1点~0点	C

③ 報告・・・①、②をご記入の上、調査結果を下記までファックスまたはEメールでご報告ください。

問い合わせ・調査結果報告先

岐阜県環境生活部自然環境保全課 自然環境企画係

電話 058-272-1111(内線2697) ファックス 058-278-2610 Eメール: c11265@pref.gifu.lg.jp

【団体名：清水川を愛する会 (2/3)】

調査日：平成 28 年 6 月 25 日

① 調査情報 (必須)

調査日時	6月25日 9時頃	天気	はれ・曇り・あめ
調査者名	5名の平均値		
調査団体名 (学校名)	清水川を愛する会 (参加人数 5 人)		
調査地点	市町村	岐阜市加納大石町	河川名 清水川を愛する ※町名・名字と合わせて、目標物となる橋や公的な建物の名称を記入してください。 薬師橋付近

② 河川評価シート

※1 上記各項目において該当する評価(A~D)を判定し、判定欄にはその評価に相当する点数を記載する。
なお、評価できない項目、評価しなかった項目については、記載の必要はない。
※2 泡については、500mlのペットボトルに2~3量水を入れて、30回振った際の状態を記載する。

評価項目	A 10点	B 6点	C 2点	D 0点	判定 (項目ごとに点数を記入)
川底の見え方	川底が明確に見える。	川底が見える。	川底がわずかに見える。少し濁っている。	川底が全く見えない。大変濁っている。	9.2
におい	きれいな川特有の香りがする	川特有の香りがする。不快なおいがない。	水に鼻を近づけて、不快なおいを感じる。風下の水際に立つと、不快なおいを感じる。	風下の水際に立つと、とても不快なおいを感じる。	8.4
川底の状態	全く滑らない、またわずかに滑る。 泥・ヘドロの堆積はない。 裸足で入りたくなる。	ところどころ滑る。 泥・ヘドロの堆積はない。 裸足で入ってもよい。	ヌルヌルする。 ミスワタ・泥・ヘドロが少し堆積している。 裸足で入りたくない。	ヌルヌルする。 ミスワタ・泥・ヘドロが多く堆積している。 裸足で入るのはイヤだ。	7.6
ゴミの量	川の中や水際にゴミは見当たらない。	川の中や水際にゴミはほとんど見当たらない、または少量である。	川の中や水際にゴミがあって、不快である。	川の中にゴミがあって、とても不快である	8.4
泡	泡がない。 ペットボトルに水を入れて振っても泡立たない。	わずかに泡がある。 ペットボトルに水を入れて振ると、泡がすぐに消える。	泡が多い。 ペットボトルに水を入れて振ると、泡が少したつと消える。	泡が非常に多い。 ペットボトルに水を入れて振ると、泡がなかなか消えない。	9.2
油	水面に汚れが全くない。	よく見ると、気になる。	キラツキが目立つ。	著しくキラキラしている	10.
見かけた生き物の種類		川の様子		合計	58.2 点
コイ、カメ、サギ、 Pメンホリ、カワウ カモ、		雨の後も余り増水はなく、見た目にはキレイに見える。		平均点	8.8 点
総合評価	A とてもきれい	B きれい	C 少しきたない	D 大変きたない	調査した河川の評価
平均点 (小数点以下切り捨て)	10点~8点	7点~5点	4点~2点	1点~0点	A

③ 報告 ①、②をご記入の上、調査結果を下記までファックスまたはEメールでご報告ください。

問い合わせ・調査結果報告先

岐阜県環境生活部自然環境保全課 自然環境企画係

電話 058-272-1111(内線2697) ファックス 058-278-2610 Eメール: c11265@pref.gifu.lg.jp

【団体名：清水川を愛する会（3/3）】

調査日：平成 28 年 6 月 25 日

① 調査情報（必須）

調査日時	6 月 25 日 9 時頃	天気	はれ・\odot・あめ	
調査者名	荒田川 7 名のメンバー			
調査団体名 (学校名)	清水川を愛する会 (参加人数 7 人)			
調査地点	市町村	岐阜市加納御庫町	河川名	荒田川
	※町名・名字と合わせて、目標物となる橋や公的な建物の名称を記入してください。 井田橋下流			

② 河川評価シート

※1 上記各項目において該当する評価(A~D)を判定し、判定欄にはその評価に相当する点数を記載する。
なお、評価できない項目、評価しなかった項目については、記載の必要はない。
※2 泡については、500mlのペットボトルに2-3位水を入れて、30回振った際の状態を記載する。

評価項目	A 10点	B 6点	C 2点	D 0点	判定 (項目ごとに点数を記入)	
川底の見え方	川底が明確に見える。	川底が見える。	川底がわずかに見える。少し濁っている。	川底が全く見えない。大変濁っている。	8.9	
におい	きれいな川特有の香りがする	川特有の香りがする。不快なおいがない。	①水に鼻を近づけて、不快なおいを感じる。 ②風下の水際に立つと、不快なおいを感じる。	③風下の水際に立つと、とても不快なおいを感じる。	6	
川底の状態	①全く滑らない、またわずかに滑る。 ②泥・ヘドロの堆積はない。 ③裸足で入りたくなる。	④ところどころ滑る。 ⑤泥・ヘドロの堆積はない。 ⑥裸足で入ってもよい。	⑦ヌルヌルする。 ⑧ミスワタ・泥・ヘドロが少し堆積している。 ⑨裸足で入りたくない。	⑩ヌルヌルする。 ⑪ミスワタ・泥・ヘドロが多く堆積している。 ⑫裸足で入るのはイヤだ。	1.7	
ゴミの量	川の中や水際にゴミは見当たらない。	川の中や水際にゴミはほとんど見当たらない、または少量である。	川の中や水際にゴミがあって、不快である。	川の中にゴミがあって、とても不快である	3.6	
泡	泡がない。 ペットボトルに水を入れて振っても泡立たない。	①わずかに泡がある。 ②ペットボトルに水を入れて振ると、泡がすぐに消える。	③泡が多い。 ④ペットボトルに水を入れて振ると、泡が少したつと消える。	⑤泡が非常に多い。 ⑥ペットボトルに水を入れて振ると、泡がなかなか消えない。	10	
油	水面に汚れが全くない。	よく見ると、気になる。	キラッキが自立つ。	蓄しくキラキラしている。	9.4	
見かけた生き物の種類		川の様子			合計	
カメ、アメンボウ おたまじゃくし、		川からの流入が少なく 側溝からの流入が主であるので、水は少くない。 流れているの？			39.6 点	
総合評価		A とてもきれい	B きれい	C 少し汚くない	D 大変汚くない	平均点
平均点 (小数点以下切り捨て)		10点~8点	7点~5点	4点~2点	1点~0点	B

③ 報告・・・①、②をご記入の上、調査結果を下記までファックスまたはEメールでご報告ください。

問い合わせ・調査結果報告先
岐阜県環境生活部自然環境保全課 自然環境企画係
電話 058-272-1111(内線2697) ファックス 058-278-2610 Eメール: c11265@pref.gifu.lg.jp

3.5 水生生物調査結果

【団体名：津市環境部環境保全課】

調査日：平成 28 年 7 月 17 日

【長野川】

調査団体名	津市		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	津市		調査参加人数	42 人
調査担当者名		連絡先住所	〒	
担当者連絡先	TEL	FAX	E-mail	

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)					
水質階級 I	1	アミカ類				調査河川名	長野川			
	2	ナミウズムシ		○		調査地点名	津市稲葉町地内(稲初橋付近)			
	3	カワゲラ類		○		今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した				
	4	サワガニ		○			調査日時	2016 年 7 月 17 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類		●		天気	<input type="checkbox"/> はれ <input checked="" type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類		●		水温	23.1 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類		○		川幅	約 20.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ		○		生物採取場所 <input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい				
	9	ヤマトビケラ類		○			水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	10	ヨコエビ類		○		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ		○		流れのはやさ <input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)				
	12	オオシマトビケラ		○			川底の状態 <input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
	13	カワニナ類		○		水のおい <input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)				
	14	ゲンジボタル					水にごり <input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			
	15	コオニヤンマ		○						
	16	コガタシマトビケラ類		○						
	17	ヒラタドROMシ類		○						
	18	ヤマトシジミ		○						
水質階級 III	19	イソコツブムシ類								
	20	タニシ類		○						
	21	ニホンドロソコエビ								
	22	シマイシビル								
水質階級 IV	23	ミズカマキリ		○						
	24	ミズムシ								
	25	アメリカザリガニ		○						
水質階級判定	水質階級		I	II	III	IV				
	1.	○印と●印の個数	9	7	2	3				
	2.	●印の個数	2							
	3.	合計(1欄+2欄)	11	7	2	3				
この地点の水質階級は			I		です					

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
ヒゲナガカワトビケラ	モノアラガイ	シマドジョウ
ガガンボ	コオイムシ	オイカワ
チラカゲロウ	ヌマエビ	カワムツ
マシジミ	マダラカゲロウ	カワナマズ
タニガワカゲロウ	ミズスマシ	カワヨシノボリ
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：土岐市（1/4）】

調査日：平成 28 年 7 月 26 日

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	10 人

指標生物（見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アマカ類		
	2	ナミウズムシ		
	3	カワゲラ類		
	4	サワガニ		
	5	ナガレトビケラ類		
	6	ヒラタカゲロウ類		
	7	ブユ類		
	8	ヘビトンボ		
	9	ヤマトビケラ類		
	10	ヨコエビ類		
水質階級 II	11	イシマキガイ		
	12	オオシマトビケラ		
	13	カワニナ類	●	
	14	ゲンジボタル		
	15	コオニヤンマ	○	
	16	コガタシマトビケラ類	●	
	17	ヒラタドロムシ類		
	18	ヤマトシジミ		
水質階級 III	19	イソコツブムシ類		
	20	タニシ類		
	21	ニホンドロソコエビ		
	22	シマイシビル		
水質階級 IV	23	ミズカマキリ		
	24	ミズムシ		
	25	アメリカザリガニ		
水質階級の判定	26	エラミミズ		
	27	サカマキガイ		
	28	ユスリカ類		
	29	チョウバエ類		
この地点の水質階級は			II です	
			調査河川名 妻木川	
			調査地点名 鶴里町中沢地区	
			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい) 今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
			調査日時 平成 28 年 7 月 26 日 9 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
			天気 <input type="checkbox"/> はれ <input checked="" type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
			水温 20.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
			川幅 約 3.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
			生物採取場所 <input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
			水深 約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
			流れのはやさ <input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
			川底の状態 <input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
			水のおい <input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
			水にごり <input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
・エビ類	・	・メダカ	
・タニガワカゲロウ	・	・	
・ヒゲナガカワトビケラ	・	・	
・チラカゲロウ	・	・	
・	・	・	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	
・	・		
・	・		
・	・		
・	・		
・	・		

【団体名：土岐市 (2/4)】

調査日：平成 28 年 7 月 26 日

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	10 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)																						
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	妻木川																					
	2	ナミウズムシ			調査地点名	御幸橋下流																					
	3	カワゲラ類			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した																					
	4	サワガニ				調査日時	平成 28 年 7 月 26 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)																				
	5	ナガレトビケラ類			天気	<input type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input checked="" type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい																					
	6	ヒラタカゲロウ類			水温	20.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)																					
	7	ブユ類			川幅	約 2.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)																					
	8	ヘビトンボ			生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい																					
	9	ヤマトビケラ類				水深	約 15 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい																				
	10	ヨコエビ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい																						
水質階級 II	11	イシマキガイ			流れのはやさ	<input checked="" type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)																					
	12	オオシマトビケラ				川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input checked="" type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他																				
	13	カワニナ類	●		水質階級の判定		水質階級																				
	14	ゲンジボタル				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>I</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>IV</td> </tr> <tr> <td>1. ○印と●印の個数</td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. ●印の個数</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 合計(1欄+2欄)</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table>					I	II	III	IV	1. ○印と●印の個数		4	1		2. ●印の個数		2			3. 合計(1欄+2欄)	0	6
	I	II	III	IV																							
1. ○印と●印の個数		4	1																								
2. ●印の個数		2																									
3. 合計(1欄+2欄)	0	6	1	0																							
15	コオニヤンマ	○		この地点の水質階級は II です																							
16	コガタシマトビケラ類	●																									
17	ヒラタドロムシ類	○																									
18	ヤマトシジミ																										
水質階級 III	19	イソコツブムシ類																									
	20	タニシ類																									
	21	ニホンドロソコエビ																									
水質階級 IV	22	シマイシビル	○																								
	23	ミズカマキリ																									
	24	ミズムシ																									
	25	アメリカザリガニ																									
26	エラミミズ																										
27	サカマキガイ																										
28	ユスリカ類																										
29	チョウバエ類																										

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
・エビ類	・	・魚類(種不明)	
・ヒゲナガカワトビケラ	・	・	
・ヤゴ	・	・	
・チラカゲロウ	・	・	
・タニガワカゲロウ	・	・	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	

【団体名：土岐市（3/4）】

調査日：平成 28 年 7 月 26 日

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつづつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	11 人

指標生物（見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	肥田川			
	2	ナミウズムシ		調査地点名	濃南小学校駐車場付近			
	3	カワゲラ類	○	昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ	○		調査日時	平成 28 年 7 月 26 日 9 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類	●	天気	□ はれ ■ くもり ■ 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類	○	水温	10.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類		川幅	約 2.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	■ 川の中心 □ 上流から見て右岸 □ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類			水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのよさ	□ 速い(毎秒60cm以上) □ 普通(毎秒30~60cm) ■ 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ			川底の状態	□ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い □ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他		
	13	カワニナ類	○	水質階級の判定		水のおい	■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	14	ゲンジボタル			水のごり		□ 透明またはきれい ■ 少しにごっている □ 大変にごっている	
15	コオニヤンマ	●	1. ○印と●印の個数	I		II	III	IV
16	コガタシマトビケラ類		2. ●印の個数	1	1			
17	ヒラタドロムシ類		3. 合計(1欄+2欄)	5	3	0	0	
18	ヤマトシジミ		この地点の水質階級は I です					
水質階級 III	19	イソコツブムシ類		その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類
	20	タニシ類		.				.
	21	ニホンドロソコエビ		.				.
	22	シマイシビル		.				.
水質階級 IV	23	ミズカマキリ		.				.
	24	ミズムシ		.				.
	25	アメリカザリガニ		.				.
26	エラミミズ		水草類	鳥類				その他、気づいたこと
27	サカマキガイ		.	.				.
28	ユスリカ類		.	.				.
29	チョウバエ類		.	.				.

【団体名：土岐市（4/4）】

調査日：平成 28 年 7 月 26 日

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	土岐市	調査参加人数	11 人

指標生物（見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	肥田川			
	2	ナミウズムシ			調査地点名	肥田町肥田橋付近			
	3	カワゲラ類			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は □ I ■ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ				調査日時	平成 28 年 7 月 26 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類		○	天気	□ はれ □ くもり ■ 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類			水温	13.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類			川幅	約 7.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ			生物採取場所	□ 川の中心 □ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類				水深	約 40 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	10	ヨコエビ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ			流れのはやさ	□ 速い(毎秒60cm以上) □ 普通(毎秒30~60cm) ■ 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ				川底の状態	□ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い □ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 ■ コケ □ その他		
	13	カワニナ類			水質階級の判定		■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)		
	14	ゲンジボタル				水のごり	■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大変にごっている		
15	コオニヤンマ		●						
水質階級 III	16	コガタシマトビケラ類							
	17	ヒラタドロムシ類							
	18	ヤマトシジミ							
水質階級 IV	19	イソコツブムシ類							
	20	タニシ類							
水質階級 V	21	ニホンドロソコエビ		●					
	22	シマイシビル							
水質階級 VI	23	ミズカマキリ		○					
	24	ミズムシ							
水質階級 VII	25	アメリカザリガニ							
	26	エラミミズ							
水質階級 VIII	27	サカマキガイ							
	28	ユスリカ類							
水質階級 IX	29	チョウバエ類							
	水質階級の判定								
この地点の水質階級は					III です				

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	

【団体名：内山川ホタルを守る会】

調査日：平成28年8月7日

調査河川 内山川

調査場所	内山川上境坪橋上流																					
年月日(時刻)	28・8・7 (7:30)				・	・	・	(:)	・	・	・	(:)	・	・	・	(:)
天気	晴れ																					
水温(°C)	24°C																					
生物を採取した場所	川の左岸側																					
生物を採取した水深	10cm																					
流れの速さ	ふつう																					
川底の状況	こぶし大の石が多い																					
水にごり、匂い、その他	きれい																					
魚、水草、鳥、その他の生物	ヨシノボリ類																					
水質	指標生物	見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつける。																				
きれいな水	水質階級Ⅰ	1. アミカ																				
		2. ウズムシ																				
		3. カワゲラ																				
		4. サワガニ	●																			
		5. ナガレトビケラ																				
		6. ヒラタカゲロウ																				
		7. フユ																				
		8. ヘビトンボ																				
		9. ヤマトビケラ																				
少しきたない水	水質階級Ⅱ	1. イシマキガイ																				
		2. オオシマトビケラ																				
		3. カワナ	●																			
		4. ゲンジボタル																				
		5. コニヤンマ	○																			
		6. コダシマトビケラ																				
		7. スジエビ																				
		8. ヒラタドムシ																				
		9. ヤマトシジミ																				
きたない水	水質階級Ⅲ	1. イソコツブムシ																				
		2. タイコウチ																				
		3. タニシ																				
		4. ニホンドロコエビ																				
		5. ヒル																				
		6. ミズカマキリ																				
		7. ミズムシ																				
大変きたない水	水質階級Ⅳ	1. アメリカザリガニ																				
		2. エラミズ																				
		3. サカマキガイ																				
		4. セスジュスリカ																				
		5. チョウハエ																				
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV					
	1. ○印と●印の個数	1	2	0	0																	
	2. ●印の個数	1	1	0	0																	
	3. 合計(1欄+2欄)	2	3	0	0																	
その地点の水質階級	II																					

4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安部 鳥羽海上保安部 警備救難課</p> <p>◆主な観測地点：鳥羽港</p> <ul style="list-style-type: none">・ 落ち葉や切れた水草が滞っており、ビニール袋、発泡スチロール等の人工ごみも散見された。
<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安部 中部空港海上保安航空基地 警備救難課</p> <p>◆主な観測地点：常滑港</p> <ul style="list-style-type: none">・ 伊勢湾内の海域でのモニタリングですが、中部空港島周辺の海は、まだまだ十分水質がきれいな状態であると思えた。
<p>◆参加者名、団体名：第四管区海上保安部 警備救難部 環境防災課</p> <p>◆主な観測地点：名古屋港</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昨年と同じ場所（名古屋港）で実施しました。単独・単発では無意味な作業も、伊勢湾流域圏の多くの地点で一斉にモニタリングを実施し、集計結果をホームページで公表することで、一般の方に伊勢湾等の地域別、年度別の汚染状況を気軽に且つ身近に知っていただく資料となりますし、誰でも参加できる点は、伊勢湾再生推進会議の存在を周知し、伊勢湾の環境保全への関心を持って貰うのに有意義であると思います。・ 調査キットに同封の通知（「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」に参加申込みいただいた皆様）には、モニタリング説明書や調査結果記入用紙のダウンロード案内として、伊勢湾再生推進会議HPと、伊勢湾再生海域検討会HPの両方が列記されていますが、前者には該当するページが見当たりませんでした。・ 一般の方としては、伊勢湾再生推進会議HPと伊勢湾再生海域検討会HPを列記して案内されると分かり難いと思います。・ 「伊勢湾再生推進会議」の名前を広く一般の方に覚えて貰うことが大切ですから、一斉モニタリングの説明等のWebページは、一本化して前者に新設するなどスッキリ整理し、前者のみを案内された方が良かったかも知れません。
<p>◆参加者名、団体名：岐南町</p> <p>◆主な観測地点：境川：清六橋上流</p> <ul style="list-style-type: none">・ 昨年同様に晴天に恵まれて、良い調査が出来ました。・ 水の透明感もよく、遠くからでも魚や亀が泳いでいるのが確認出来ました。・ 調査地点の上流、下流共に河川整備が進められているとのことで、水量も流れも安定していました。・ 住居付近であることから除草や清掃管理が出来ており、河川敷は全体的に綺麗でありました。・ 今回で3度目の調査ですが、これからも環境に関心を持ち水を大切にしていきたいと思えます。
<p>◆参加者名、団体名：イーツワン（環境21期会）</p> <p>◆主な観測地点：堀川：小塩橋</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水の流れ：なし

- ・ ゴミ：川の名に落ち葉が少量浮かんで流れている。
- ・ 水質測定値の昨年比について
- ・ COD (D) : 8 以上で変わらず (昨年測定値 8 以上)
- ・ NH₄-N : 1.4~1.5 で低め (昨年測定値 3.0)
- ・ NO₂-N : 0.3~0.35 で低め (昨年測定値 0.4)
- ・ NO₃-N : 8.0 で低め (昨年測定値 7.0)
- ・ PO₄-N : 0.2 で低め (昨年測定値 0.3)

参考

- ・ COD (H) : 10
- ・ PH : 7.1~7.2
- ・ 透視度 73 c m でやや良 (昨年測定値 63cm)

◆参加者名、団体名：内山川ホタルを守る会

◆主な観測地点：内山川：上境坪橋上流

◆主な観測地点：内山川：森下橋下流

- ・ 日中の気温が高いため、今回から早朝に実施しましたが、やはり早朝でも 28℃ もあり参加者が少なかったです。

◆参加者名、団体名：梅田川フォーラム事務局

◆主な観測地点：梅田川

◆主な観測地点：梅田川（排水口）左岸

◆主な観測地点：(梅田川) 西の川河口

- ・ 今回は地元の植田小学校の協力を得て、小学生を中心に一斉モニタリング、梅田川の観察を行うことが出来ました。牧野自然観察指導員の指摘で珍しいシロサギとカワウの共同オイコミ活動が確認できて良い体験をしました。
- ・ 川辺のゴミは本当に少なくなり、ヨシの中でも漂着ゴミが減少してきました。残念ながらヘドロの改善はほとんど変わりがありません。
- ・ シロサギ、カワウの数は昨年より多い様です。ボラの幼魚が多数確認出来ました。水質は No₃ が高い様に思います。科学肥料から流出（農地：畑）されている様に推測されます。大潮で下潮時の採水を考えること!!

◆参加者名、団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム

◆主な観測地点：中川運河いろは橋付近

- ・ 運河内でのゴミはなく、「清港会」の清掃活動が行き届いているのではと思われました。
- ・ このようなモニタリングを継続していくことによって、参加して下さった方々がより運河を身近に思い、異空間での親子体験型イベントを行うことでコミュニケーションが図れたり、また、環境に目を向ける機会が多くなれば、環境に配慮し、気づき合えることが多くなると思いました。

◆参加者名、団体名：NPO 法人 藤前干潟を守る会

◆主な観測地点：庄内川：国道 23 号 庄内大橋 中央部

- ・ 最大満潮時刻 15 : 55 最大干潮時刻 9 : 03 (中潮) 潮の流れは歩く速さに近い (上流→下流)

- ・ 透視度が 87.5cm と高く、この時期にしては良好な数値である。

◆主な観測地点：新川：国道 23 号 新川大橋 中央部

- ・ 透視度が 88cm と高い数値である。
- ・ 庄内川に比べあらゆる水質項目で良い値である。
- ・ 塩分が新川：0.55% 庄内川：0.11%と違いがある。
- ・ 川岸辺りでは水草（藻）が流れている。

◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会

◆主な観測地点：扇川：上汐田橋（干潮時）

- ・ 干潮時で、水深も浅く川底の物質がバケツに入った様で、リン酸の数値が高かった。
- ・ 採水地点近くの同級生から、最近ハゼが上がってこなくなったという話があった。確かに以前秋口には、たくさんの釣り人がいたのを見かけたが、最近は見かけなくなった。
- ・ 夏ということで、予想したより水質は良くなかった。
- ・ ごみは比較的少なかった。投げ込み自転車も採水地点近辺では見かけなかった。

◆主な観測地点：扇川：上汐田橋（満潮時）

- ・ 今までは満潮時は、比較的良い数値が出る場合が多かったが、今回はかなり悪い結果が出た。
- ・ 満潮時で、流れがほぼ止まっていたせいか、上流から流れてきたペットボトルが 10 数本、街路樹のエンジュの花びらがかなり水面に浮いていた。

◆主な観測地点：扇川（大池）：上汐田橋

- ・ いつも通りの良くもなく、悪くもなくといった感じ。
- ・ ヒシは、数年前に池の浚渫工事を行った直後の夏に、発生して以後毎年、発生するようになった。他所の土が入ったのでしょうか。
- ・ ヒシは、池の環境にとって良いのでしょうか、悪いのでしょうか？

◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室

◆主な観測地点：庄内川上流の土岐川本流：明德橋

◆主な観測地点：土岐川の支流の小里川：孕子橋

◆主な観測地点：土岐川本流釜戸川：新町屋橋

- ・ 庄内川の上流域では、水質はまあ良いほうであると評価できるが、全地点で昨年度に比べてほとんどの指標で悪くなっている。
- ・ 調査エリアの下流域①明德橋地点および②はらみ子橋地点には、小魚が群れていたはずであるが、今年度は見られない。水質の悪化が原因か、それともシラサギやウが捕食したのだろうか？
- ・ ②はらみ子橋のいつもの調査河原は、背丈ほどのうっそうと茂った草に覆われ、鎌で藪漕ぎが必要であった。一年でこんなに景観が変わるものかと驚いた。
- ・ 今回、投網で水生生物の捕獲を実施したので、③釜戸新町屋橋地点では、成長した放流鮎の生息を確認できた。最上流域の支流の地点④佐々良木川では、絶滅危惧種のアカザの生息を確認できた。水質もよく、貴重な川と考える。将来、庄内川（土岐川→釜戸川）の水質がきれいになれば、種の供給源として、期待できるだろう。継続して、モニタリング調査で見守る必要がある。

◆参加者名、団体名：金山町生活学校

◆主な観測地点：菅田川：菅田橋直下

- ・ 気温も高いので、川の水温も高い

◆主な観測地点：馬瀬川

- ・ 昨年と同様、見た目にも調査結果にも、川の水がきれいであることがわかりました。
- ・ 調査した場所では、生き物は見えなかったです。
- ・ 県道 265 号線、近くには道の駅（かれん）

◆主な観測地点：馬瀬川

- ・ 魚釣りのシーズンで数人の方が釣り人を見かけた。
- ・ 季節によって周辺の景色が変化していくのを感じる。

◆参加者名、団体名：可児市めだかの楽校

◆主な観測地点：可児川：可児市役所北側

- ・ 今回は親子、中部大学生の先生と学生、めだかの学校の会員など、総勢 40 人が参加して水生生物観察や水質調査を行いました。
- ・ 可児川の現場で“虫あわせ”会議室に移って中部大学の応用生態学部教授・村上哲生さんの講評をパワーポイントを交えて聞きました。
- ・ 午前 9 時から 3 時間、五感で川に親しむカワゲラウォッチングを行いました。

◆参加者名、団体名：川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画

◆主な観測地点：黒川（堀川上流）：稚児橋人道橋

- ・ 河床に水草（外来植物のオオセキショウモ？）が増加しているよう。
- ・ テナガエビがほとんどとれなくなった。
- ・ 以前は魚類のウキゴリもいたようですが、今回は見られなかった。
- ・ 河川環境が変化しているようで、今後継続して観察していきたい。

◆主な観測地点：黒川（堀川上流）：稚児橋人道橋

- ・ 継続して長期的に観察していくことにより、見えてくることがあると思います。
- ・ 今後も引き続きモニタリングを続けていきたいと思っています。
- ・ ゴミは比較的少ないほうだと思いますが、空き缶などのゴミはいつも見つかって残念に思います。

◆参加者名、団体名：雲出川愛護モニター

◆主な観測地点：中村川一志橋付近：一志橋左岸 10m 下流

- ・ 中村川一志橋周辺は保育園・公民館があり、周りは田圃・畑と自然環境には恵まれたところだと思います。
- ・ 野鳥・植物も多く、採水時小魚が沢山群れをなして泳ぎ回っていました。数値結果は中流域では良いと思います。化学肥料・農薬・工場排水・生活排水等の影響も数値上問題なく、良いと思います。降雨の時、河川に流れ込む数値の値は異なるでしょうが、沢山の小魚と植物が確認でき概ね良好だと思います。

◆主な観測地点：阪内川三郷井関：阪内親水公園右岸 五曲橋上流約 200m

- ・ 公園駐車場に多くの車が止められ公園施設を利用されていました。ゴミ集積場では分別され、

生ごみ等のネットも用意され大型鳥獣・カラス等の飛散防止も考慮されています。水面ではカイツブリが泳ぎ、水中ではコイ・カメ等が確認、透明度も良く水草が適度の浄化作用が働いているのか…伊勢湾に注がれる住宅街を流れる河川ですが不法投棄・生活ごみ等が確認できず、パケットテストでは許容範囲内で全て収まっています。概ね水環境は良好だと思います。

◆主な観測地点：金剛川潮止樋門：金剛川潮止通門下

- ・ 川幅が広くハマボウが咲き、潮の匂いも適度に感じられ景観は良好です。しかし、採水場所の通門では潮とヘドロ臭が交わった匂いを感じます。
- ・ 河口部では堆積物が黒く硫化水素の泡が多く確認できます。通門上流部では土色の粘土のような形態です。

◆主な観測地点：愛宕川潮止樋門：愛宕川左岸潮止通門 50m 下流

- ・ 採水場所は潮止通門上流ですが海底の土質はヘドロ状で川面に泡の発生も多く、生きものも少ないように感じられます。カニ類(チゴガニ・コメツキガニ・アシハラガニ等)は確認できません。通門上流部は水量も豊富でアシが繁茂し昆虫類も生息していると思います。通門で自然環境がかなり異なっています。
- ・ パケットテストの水質検査では範囲内ですが、漂流物の生活ごみ・ペットボトル・発砲スチロールが少し確認され景観・風景上芳しくありません。

◆主な観測地点：三渡川河口：三渡川右岸

- ・ 干満の差で地表面が現れ、周りのアシ群が水質浄化の役割を担っているのか水面では稚魚の群れが多く確認できました。浮遊物は少なく、漂流物も水際で生活ごみ・ペットボトル・発砲スチロール等上流からの蓄積物と感じられます。範囲ないで生活排水・工場排水・農業肥料の影響も少ないと思われます。

◆主な観測地点：雲出川雲出新井頭首：小戸木橋 300m 上流左岸

- ・ 身近な自然を感じさせてくれる場所。河川敷は多くの動植物の育成に欠かせない場所です。自然環境の指標となる野鳥は森林・里山・河川敷・河口沿岸・伊勢湾の餌食に左右され環境保全が成されなければ野鳥の飛来もありません。野鳥の餌食となる動植物は水質に左右されます。伊勢湾・太平洋と水の循環で繋がる河川は、工場排水・生活排水・農業肥料・農薬と人の営みで左右されます。不法投棄・生活ごみ・ペットボトル・発砲スチロール等、目に見える異物も風景・景観に害を及ぼしますが、目視できない水質汚濁の監視は重要です。毎年、場所を決め調査することが必要だと感じます。

◆参加者名、団体名：港栄第一エコクラブ

◆主な観測地点：名古屋港：堀川河口部

◆主な観測地点：名古屋港：中川運河いろは橋左岸

◆主な観測地点：名古屋港：中川口通船門（運河左岸）

- ・ これまでは、少し足を運び汽水域の水質調査を実施していましたが、より身近な水質を調べてみようとして塩水域での調査を実施しました。今後も継続して地域の水辺環境を見てゆきたいと思っています。
- ・ 同一条件で継続して調査することが大切なのですが、塩水域でのパケットテストの信頼性が少し気かりです。

- ・ 塩水濃度によって値の評価が違ってくると思われるので、バックテストにおける塩水調査時の評価について、モニタリング説明書に可能であれば解説いただけると幸いです。

◆参加者名、団体名：鯨城・堀川と生活を考える会

◆主な観測地点：堀川：国道 23 号 港新橋 中央部

- ・ 最大満潮時刻 7:03 2.48m(N・P) 最大干潮時刻 13:28 0.4m (N・P) (中潮) 潮の流れは殆どない。
- ・ 透視度が 23 cm と低く、臭いもカビ臭い感じがした。
- ・ 水質項目で、亜硝酸態窒素・硝酸態窒素・りん酸態りんの値が、思ったより低く感じた。
- ・ 30 cm 大のボラが水面を飛んでいる。
- ・ 生物は少ない感じがする。

◆参加者名、団体名：十四川を守る会

◆主な観測地点：十四川

- ・ 十四川は、高潮対策として河口に水門が設置されており、排水は常に排水ポンプで行う構造になっています。このため、どうしても河口に土やゴミが堆積し、これがヘドロ化して悪臭の原因となっています。
- ・ 調査地点から上流 2km ほどは桜堤防で、散歩道や憩いの場として広く地域住民に親しまれていますが、ゴミの投棄による汚れが目立ちます。
- ・ 住民ひとり 1 人が川を汚さないという意識を強く持ってほしいものです。

◆参加者名、団体名：庄内川に松並木づくり隊

◆主な観測地点：イカダ川河口：第 2 イカダ大橋

- ・ 上の自動車専用高速道も下の一般道もまるで車通らない。何か変。
- ・ 釣用プレジャーボートも通らない。どうしたことか？

◆主な観測地点：庄内川横井橋

- ・ 連日の猛暑のせいと夜リオオリンピック放送のためか、人も車もめっぽう少ない。
- ・ 河川や海への感心度が読めない。

◆主な観測地点：操出川排水機場

- ・ 今回初めて調査地点、目的は昔からこの地点を知っているため伊勢湾台風直後の堤防かさ上げ直後までは堤内側は鍋田干拓で田園風景そのもの干拓地内の水を全て集めて操出川が延長されて排水されてた。その後鍋田ふ頭やゴルフ場用地が埋立てられ、高汐防潮堤が出来てせばまった泊地とつながる形となった。干拓地は稲や豆作りの他、車関係の運輸倉庫が増え陸地化が多くなった。用水が余ってるなら水路を使ってふんだんに真水を放流するがいいと思う。

◆主な観測地点：名古屋港：トリトン橋 西

- ・ 高速自動車道トリトンの橋ケター部補修工事中だったが、水質調査は影響なしとして調査した。プレジャーボート 2 艘通過するが、釣り人でなさそう。素人釣人は狙う獲物の捕食物や時期、生息水深など関係ナシ。リールに石ゴカイ（餌虫をつけて）リールで投げ込んでいる。この時期表層を浮きを使って釣るとマダカ、ボウ、サヨリが釣れるのにと考えた。

<p>◆主な観測地点：名古屋港：東金城橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレジャーボート2そう通る。釣師らしい姿はない。このところ水が悪く（どの様に悪いか分からない）しばらく釣れてないので皆んな来ないとの話し。涼しくていい所だがもったいない。 <p>◆主な観測地点：和泉川夢岬橋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここも初めての調査点です。私の狙いは愛知県外ですがこの木曾岬町（木曾川と国道1号線近くから出た筏川旧名鍋田川新名木曾岬川にはさまれ南側を伊勢湾に直接面してた半農半漁のとても自然豊かな地であり、町の中心を流れる和泉川は用排水の役目を果たしてました。大きな企業工場はないものの人の生活圏が両岸から追ってきました。 ・ 環境やその先の源緑地先は多様な魚介類が生息した場所でした。和泉川もまた普通の佐原川や日光川ない生態系をもった川でした。今でもうなぎ漁用の竹筒漁されている様子を見てホッとしました。
<p>◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会</p> <p>◆主な観測地点：朝明川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日水温が30°以上になっている。 ・ 朝明川河口での実施、満潮時間にあわせて調査しているが、30°以下になったことがないので、海水温が高いと考える。 ・ 今回は水のにごりを例年より強く感じた。 <p>◆主な観測地点：高松海岸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年しているので、継続は大切と思う。
<p>◆参加者名、団体名：引山学区連絡協議会</p> <p>◆主な観測地点：庄内川水系香流川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この10年ほとんど水質に変化はありません。5年くらい前までは川に悪臭を感じる時もありましたが、最近は良好です。 ・ 香流川のクリーン作戦を始めて10年になりますが、2年前から上流域の長久手市の関係団体と会合をもち、連携し年に2回（春・秋）一気通貫で清掃活動をしている。 ・ 近年ゴミはほとんど見られないまでになっている。
<p>◆参加者名、団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ</p> <p>◆主な観測地点：西鹿乗川：別所団地小公園前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は稲作の年に当り、川の水量が多く透視度が悪いと感じた。 ・ 暑い中の作業であり、且つ終了後の話し合いが必要と思うので①話題の情報、②飲料水、③参加費がほしい。
<p>◆参加者名、団体名：宮川流域ルネッサンス協議会</p> <p>◆主な観測地点：宮川（宮川水系）：宮川上流漁協下（大台町滝谷）</p> <p>◆主な観測地点：藪川（宮川水系）：奥伊勢フォレストピア付近（大台町藪）</p> <p>◆主な観測地点：大内山川（宮川水系）：山海の郷紀勢下（大紀町崎）</p> <p>◆主な観測地点：宮川（宮川水系）：三瀬谷ダム下流（大紀町三瀬川）</p> <p>◆主な観測地点：濁川（宮川水系）：高橋下（多気町色太）</p>

- ◆主な観測地点：一之瀬川（宮川水系）：西垣内フリーバス停下（度会町栗原）
- ◆主な観測地点：宮川（宮川水系）：度会橋下（伊勢市中島1丁目）
- ◆主な観測地点：五十鈴川（宮川水系）：浦田橋下（伊勢市浦田町）
- ◆主な観測地点：横輪川（宮川水系）：馬淵橋下（伊勢市津村町）
 - ・ スケジュールが昨年と比べてタイトであったので、他の仕事との調整が難しかった。
 - ・ 水質調査ボランティアと共に行おうとしたが準備等が間に合わず実現出来なかったのは残念。

◆参加者名、団体名：やすらぎくんネット

- ◆主な観測地点：鈴鹿川：亀山橋下 左岸川
 - ・ 月例会の日を利用したが、他の「川体験学習会」が午前中に加わった結果、モニタリングが午後にずれ込んだ。
 - ・ メンバーの高齢化が進んでいることもあって、午後の高温の炎天下の作業となり少し苦労した。
 - ・ 昨年と同じ個所での作業だったが、川の環境に変化はなく、生きものの状態や水質の変化（数値）にも差異は見えなかった。
 - ・ ただし今回も COD が予想値（3～4）よりも多い（6）ことが気になる。
- ◆主な観測地点：鈴鹿川：河口から 26km ポイント左岸川
 - ・ 平成 26 年の（前々回）調査の前後に行われた河川改修工事及び補修工事によって、このポイントの景観が全く変わってしまった。
 - ・ 流水の高低がほとんどなく、淀み、たまりなど川に必要な構造がなくなってしまう、魚影も少なく、直線的に流れる状態では、魚だけでなく人々の川を楽しむ遊びの魅力ない。
 - ・ 河畔林や湾処（ど）など、生きもの目線での構造をぜひ加えてほしい。
 - ・ 水質測定値は、26 年測定分とほぼ同水準だった。

◆参加者名、団体名：養老町生活と環境を考える会

- ◆主な観測地点：小畑川：養老郡養老町飯田小畑橋 300m 上左岸
 - ・ 岐阜県の清流調査隊として年二回の水質検査と感覚による河川調査をしていますが、今年は川の流りがゆるい為か、プラスチックの菓子の包み袋のごみが水底に落ちている。
- ◆主な観測地点：牧田川：養老郡養老町三神牧田川右岸 11.8k の立て札あり
 - ・ H27 年度モニタリングの調査結果を見て伊勢湾再生の取り組みをいっそう進めて行く活動をしていく必要性を感じました。
 - ・ 今年度は昨年度より生き物の種類を多く見かけました。特にメダカ、カニの姿がみられ、ここ数年水量が多く、見た目の川はきれいになってます。
 - ・ 水質は昨年と変わっていませんでした。
 - ・ しかし兩岸の堤防道路はゴミが散乱しています。
 - ・ 揖斐川流域クリーン大作戦を 5 月と 10 月 2 回していますが、まだまだ広報活動をしていきたいです。

◆参加者名、団体名：四つ葉会

◆主な観測地点：杭瀬川：池田町立八幡小学校

- ・ この流域は下水道が一応完備しているので町内で一番きれいと感じる。所々に湧き水もあって、水温も少し低い。
- ・ 毎年参加して数字を比べようと思う。
- ・ 素人のおばさんばかりだが、楽しくできた。改めて「川」を眺め、きれいにしたいとみんなで話し合った。

◆主な観測地点：中川：国道 417×国道 56 交差点下

- ・ 昔（私達の子供時代、50 年前）の川とは、サマ変わりしている。生き物、魚の種類、ゴミの多さ。目に見えないが何がとけているか少し怖い感じもする。
- ・ 川にビニール、プラスチック類は決して流さないようにと願う。

◆主な観測地点：東川：池田町立池田小学校東

- ・ 見てるだけでは「きれい！」だが、調べるとそうでもない。
- ・ ここは、まだ下水道がひかれてないせいかと思う。
- ・ 蛍はこのすぐ下流に多く出て、そんなにきれいでなくてもいいらしい。
- ・ 池田小児童がごくたまに川に入っているが、もっと「川遊び」をさせればいいと思う。

◆参加者名、団体名：論田川を美しくする会

◆主な観測地点：論田川

- ・ ここ数年生き物魚類がめっきり姿が見えなくなり、小さな小魚がいるのみ。鯉、鮒、ハエその他多くいました。
- ・ 水質はパックテストにて調べているが、昔の魚は少々水が悪くても生きていたことが出来たが、最近では家庭より出る汚水の影響でしょうか？
- ・ 街の中は下水が 90%普及しているのに川に汚水は入らないはずですが、何が原因なのか？もっと調べる必要かな・・・
- ・ シロサギ、アオサギがひどく多いのもそれとカワウも
- ・ 近くにコロニーがあります。

◆参加者名、団体名：小塩通信株式会社

◆主な観測地点：長良川左岸

- ・ 平成 22 年度より参加させて頂いております。
- ・ 今年度は大変暑い時期でしたので防止や塩飴等の熱中症対策をして調査致しました。
- ・ 今回の調査では二人で水質を調査し、長良川のゴミ清掃をしながら段取りよく出来ました。
- ・ 次年度も継続して出来る限り活動していきます。活動の輪を広げるよう弊社のホームページで活動報告をアップしたいと思います。宜しかったでしょうか。
- ・ ご担当者様も頑張ってください。もちろん私達も引き続き応援していきます。

◆参加者名、団体名：東芝プラントシステム株式会社

◆主な観測地点：庄内川 放水路付近

◆主な観測地点：庄内川 新名西橋付近

- ・ 昨年に続き参加させて頂きました。普段から、庄内川アダプト活動で周辺の清掃活動を通し

て河川を守ることの重要性を感じていましたが「平成 27 年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング」確定版を頂き、あらためて河川と海の繋がりや見守り続けることの重要性を強く感じました。来年も是非参加させて頂きたいと思います。

- ・ また、多くの人たちが参加し収集したデータが伊勢湾流域圏の再生に寄与することを願っております。

◆参加者名、団体名：光陵中学校自然科学部

◆主な観測地点：員弁川：員弁川念仏大橋付近

○子どもたちの感想

- ・ 員弁川の上流は思っていたよりもきれいだった。以前は下流をやっていたのでかなり差があった。
- ・ ゴミも少なく生き物も多くいた。

○引率者の感想

- ・ 定期的このような規模の一斉モニタリングが出来ること、またそのデータが蓄積されていくことは大変重要なことだと思う。前年度以前の結果を見せて頂き思いましたが、可能なら結果をただまとめて報告するだけでなく、水質データ、生息生物データなど関連付て利用出来るように公開して頂ければ嬉しいです。
- ・ 以前の調査地点と車で 15 分程度しか離れていない地点でこれほど生物相が異なることは、やはり興味深い結果でした。水質はそれほど大きく変わらなかっただけに、周囲の環境の影響の大きさが感じられました。

◆参加者名、団体名：四日市市立山手中学校

◆主な観測地点：海蔵川 河口：霞ヶ浦 パークブリッジ

- ・ 河口の方は潮が引いていて砂が見えていたが、少し掘ると、ヘドロがでてまだまだ汚いんだと思った。
- ・ 河口付近に行くと、引き潮で干潟が広がっていた。砂の中に貝が意外とあることに驚いた。
- ・ 色々と調べる項目が多くて難しかったです、水についていろいろと考える事があった。また次も水質調査を行いたい。
- ・ 岩場には小枝やゴミが多くあったので上流や海からのゴミが多いことに気付いた。
- ・ 引き潮で、見た目以上に川の流れが速く、投げたバケツを引き寄せるのに苦労した。その時、川底にあったゴミなどが舞って意外とゴミが多い事に気づいた。

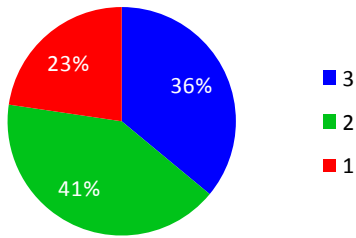
5. 一斉モニタリング経年調査結果のまとめ

平成 21 年度から行われている一斉モニタリング調査結果の経年的な変化を整理しました。

(1) 水のきれいさ

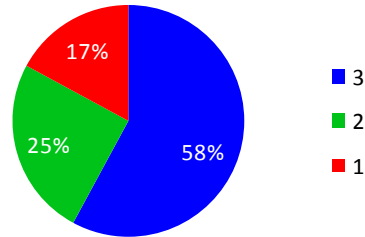
平成 21 年度の最も「濁っている」状態の評価（赤色）は 23%でしたが、平成 28 年度には 14%になり全体的に水の濁りは改善傾向といえます。

H21



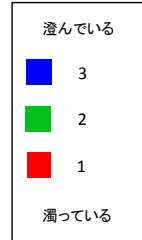
調査地点: 75地点

H22

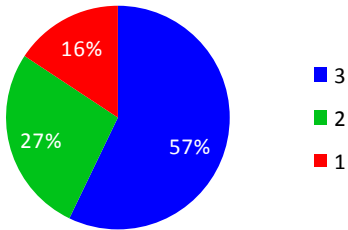


調査地点: 152地点

凡例

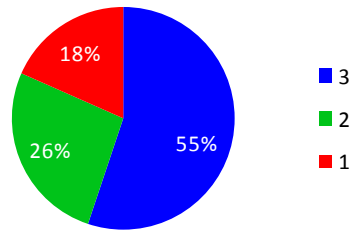


H23



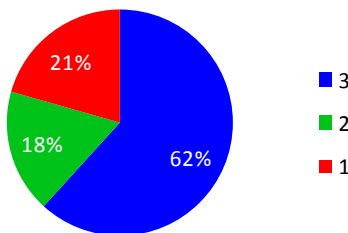
調査地点: 140地点

H24



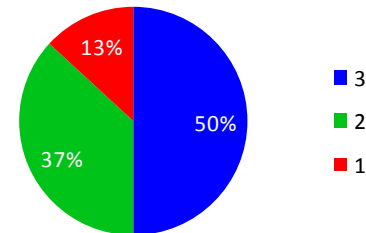
調査地点: 185地点

H25



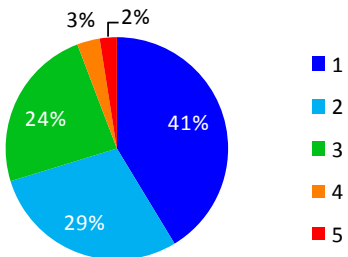
調査地点: 102地点

H26



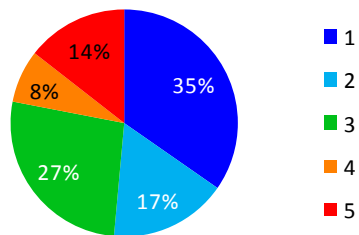
調査地点: 152地点

H27



調査地点: 121地点

H28



調査地点: 173地点

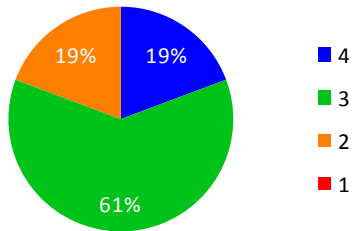
凡例



(2) 水量

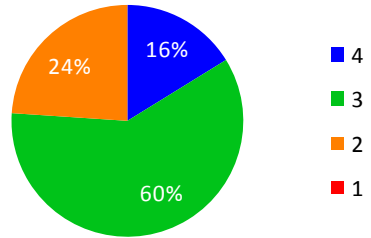
平成 27 年度、28 年度の調査では、水量が多いの回答（青色と水色）の割合が 34～39%となり、平成 21 年度より水量の増加傾向がみられます。

H21



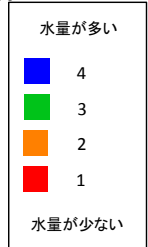
調査地点: 57地点

H22

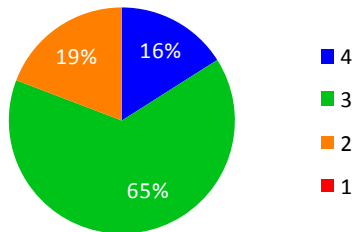


調査地点: 142地点

凡例

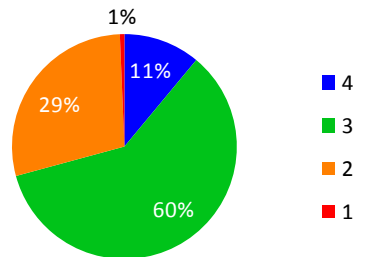


H23



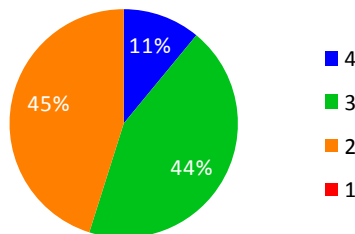
調査地点: 125地点

H24



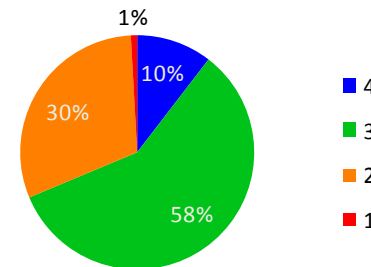
調査地点: 154地点

H25



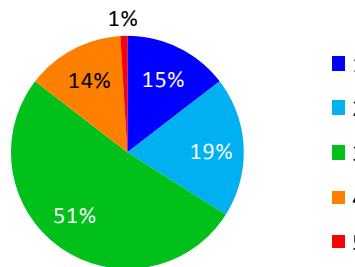
調査地点: 82地点

H26



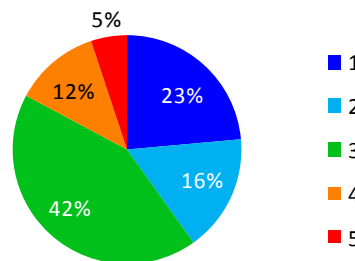
調査地点: 115地点

H27



調査地点: 103地点

H28



調査地点: 158地点

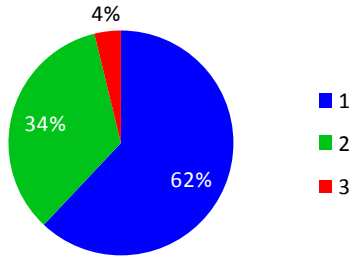
凡例



(3) ゴミ状況（水面）

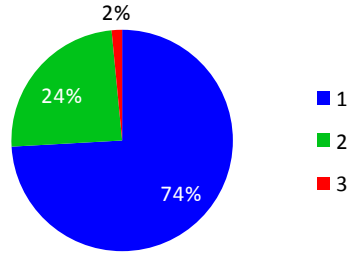
ゴミが多いの回答（赤色）は若干増加がみられますが、平成27年度、28年度のゴミがない評価（青色と水色）より、ゴミのない水面はある程度維持できていると考えられます。

H21



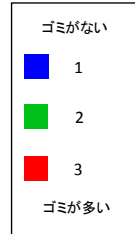
調査地点: 79地点

H22

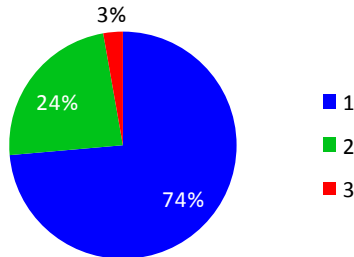


調査地点: 197地点

凡例

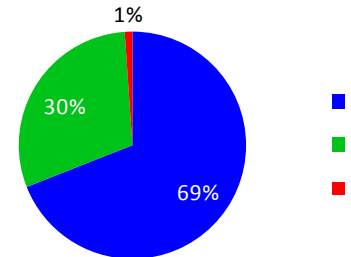


H23



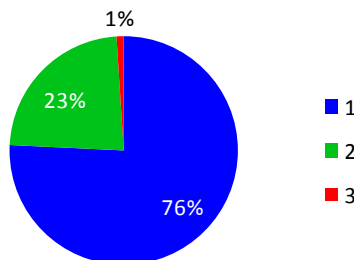
調査地点: 144地点

H24



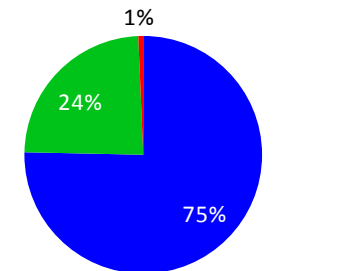
調査地点: 184地点

H25



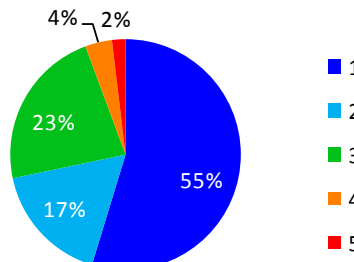
調査地点: 99地点

H26



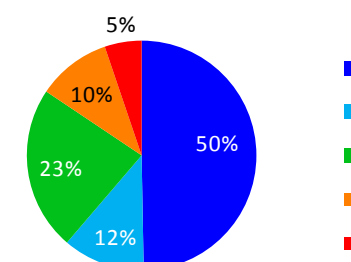
調査地点: 150地点

H27



調査地点: 106地点

H28



調査地点: 173地点

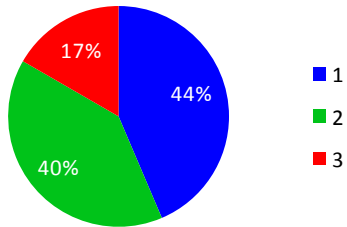
凡例



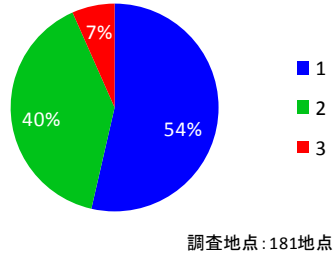
(4) ゴミ状況（周辺）

平成27年度、28年度のごみがない評価（青色と水色）は、50%以上となりまたゴミが多いの評価（赤色）も減少傾向にあることから、水辺のゴミは減っているといえます。

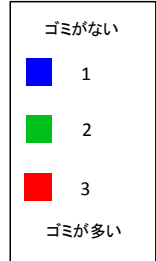
H21



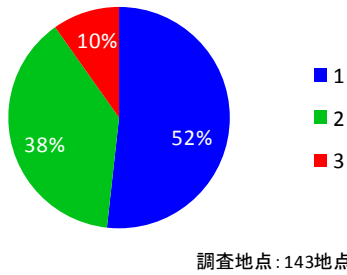
H22



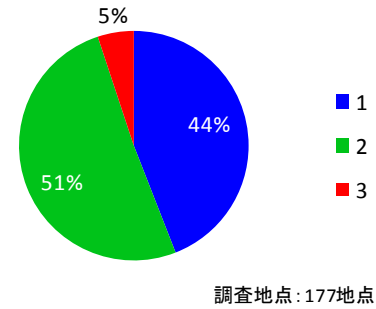
凡例



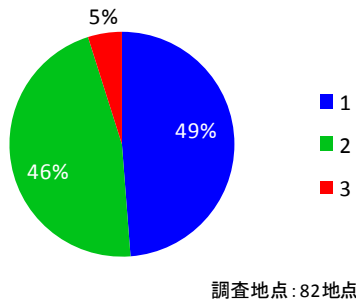
H23



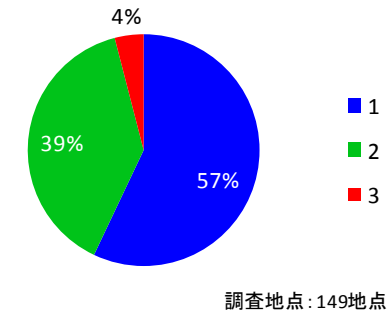
H24



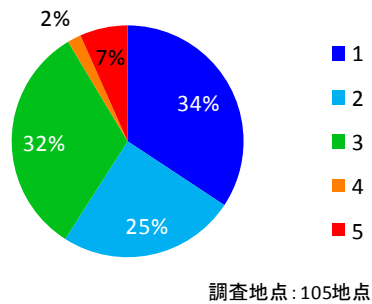
H25



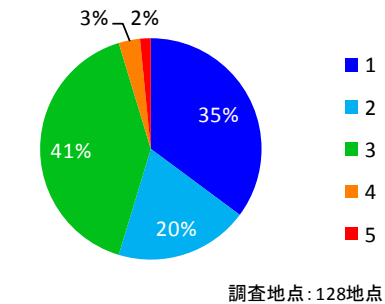
H26



H27



H28

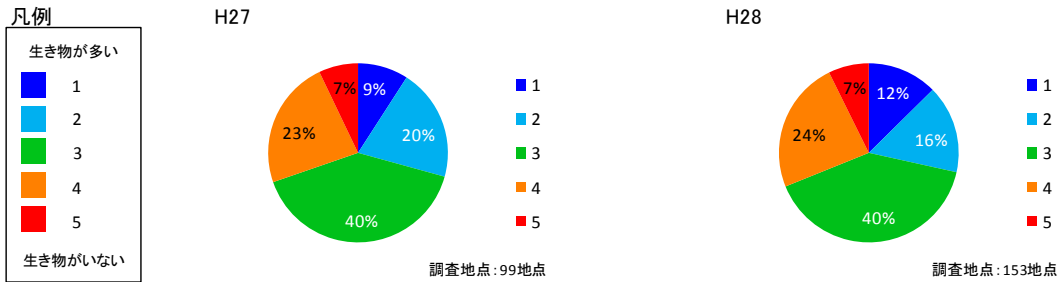


凡例



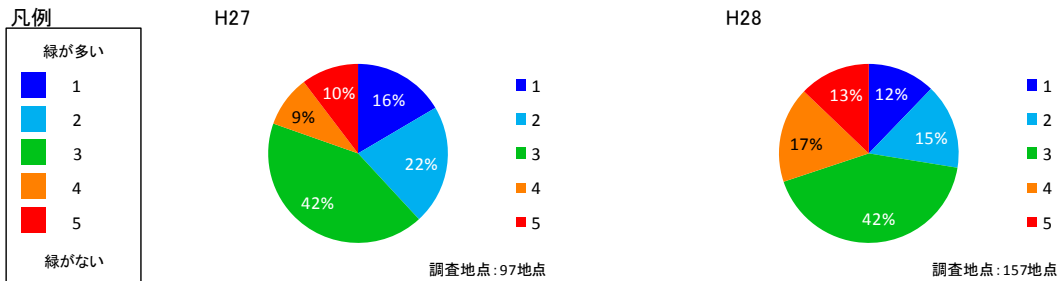
(5) 生物

平成 27 年度、28 年度の調査結果では水辺の生物量はほとんど変わりませんでした。



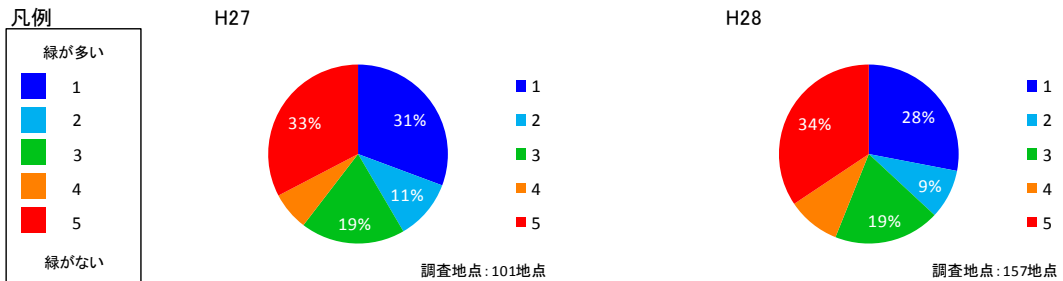
(6) 植物（周辺）

周辺の植物量も平成 27 年度と 28 年度では大きな差がありませんでした。生物量の割合と若干似たような傾向になっています。



(7) 植物（水際）

水際の植物量も平成 27 年度と 28 年度で大きな差はありませんでした。緑が多い場所（青色）と緑がない場所（赤色）の割合が高くなっています。

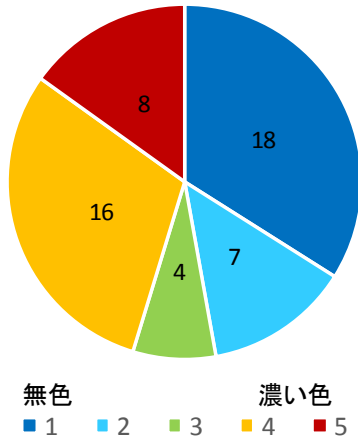


(8) 水の色 of 平成 21 年度と平成 28 年度の比較

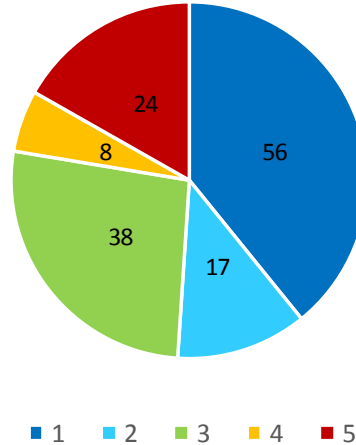
① 陸域の水の色 (数字は回答数)

平成 21 年度と比較して、無色寄りの水の色 of 回答 (1, 2, 3, 青、水色、黄緑色) が増加し水の色が改善傾向であることがわかります。

H21陸域 水の色



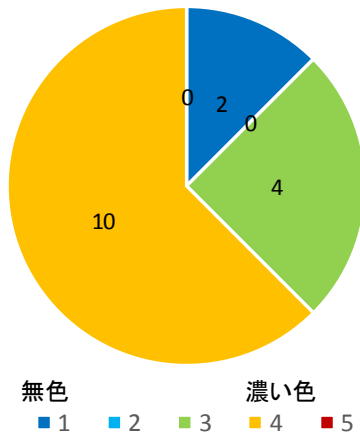
H28陸域 水の色



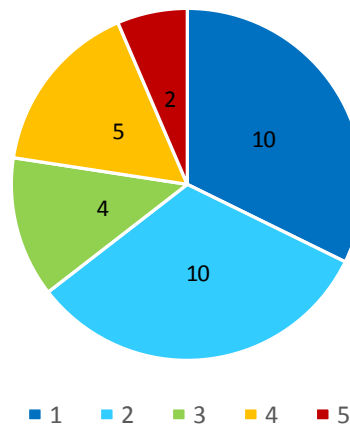
② 海域の水の色 (数字は回答数)

平成 21 年度と比較して、無色に近い水の色 of 回答 (1, 2, 青、水色) が大幅に増加し、海域で水の色が改善していることがわかります。

H21海域 水の色



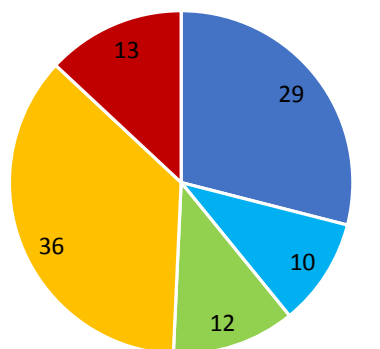
H28海域 水の色



③ 流域全体の水の色の変化（数字は%）

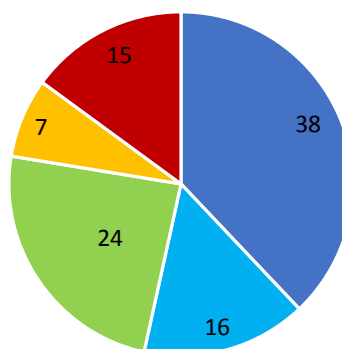
流域全体では、平成 21 年度と比較して無色に近い水色の回答（1, 2, 3, 青、水色、黄緑）の割合が 51%から 78%に増加し、流域全体で水の色が大きく改善していることがわかります。

H21 水の色



無色 濃い色
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

H28 水の色



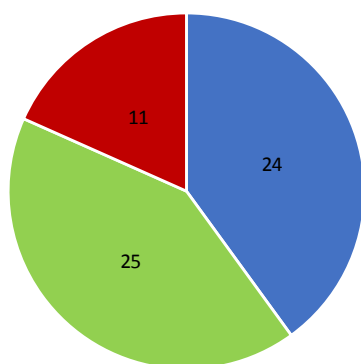
無色 濃い色
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

(9) 水際のごみの平成 21 年度と平成 28 年度の比較

① 陸域の水際のごみ（数字は回答数）

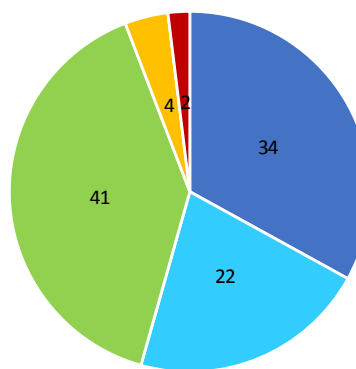
平成 21 年度と比較して、陸域ではごみが多いの回答（赤色）数が減りごみが多い水辺が減っていることがわかります。

H21陸域 水際のごみ



ない ■ 1 ■ 2 ■ 3 多い

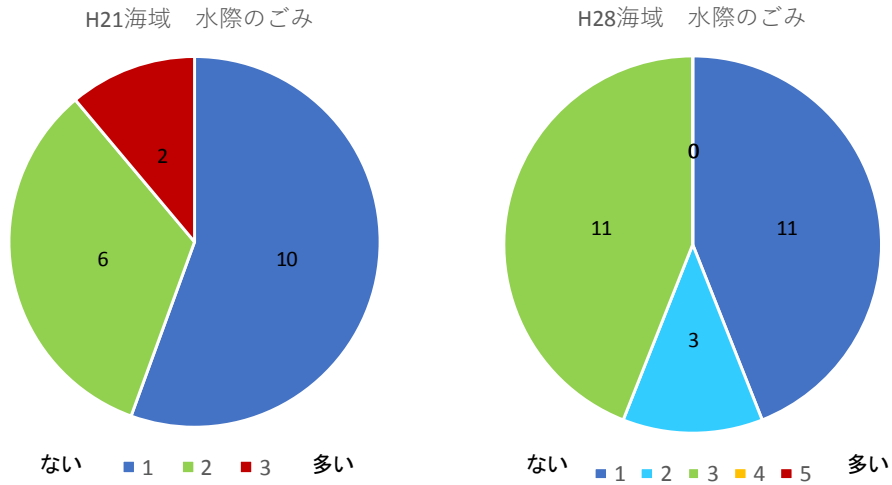
H28陸域 水際のごみ



ない ■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 多い

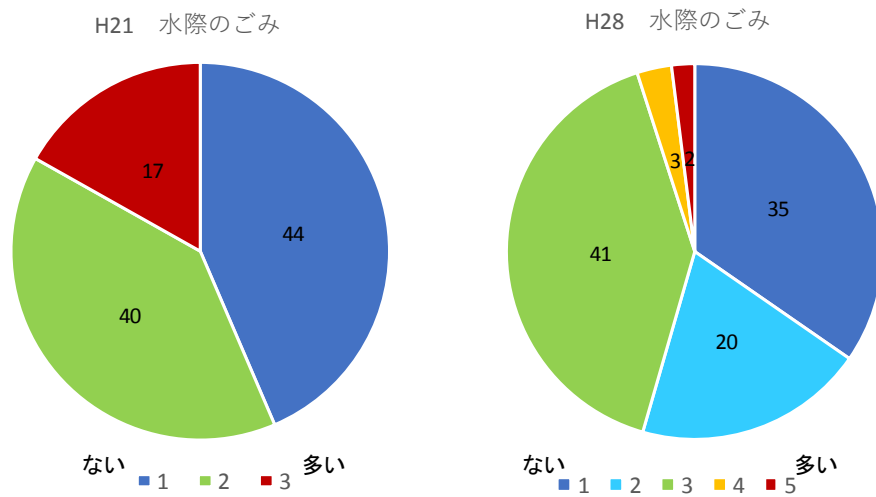
② 海域の水際のごみ（数字は回答数）

平成 21 年度と比較して、ごみが多いの回答（赤色）はなくなり、海域でもごみの多い水辺が減っていることがわかります。



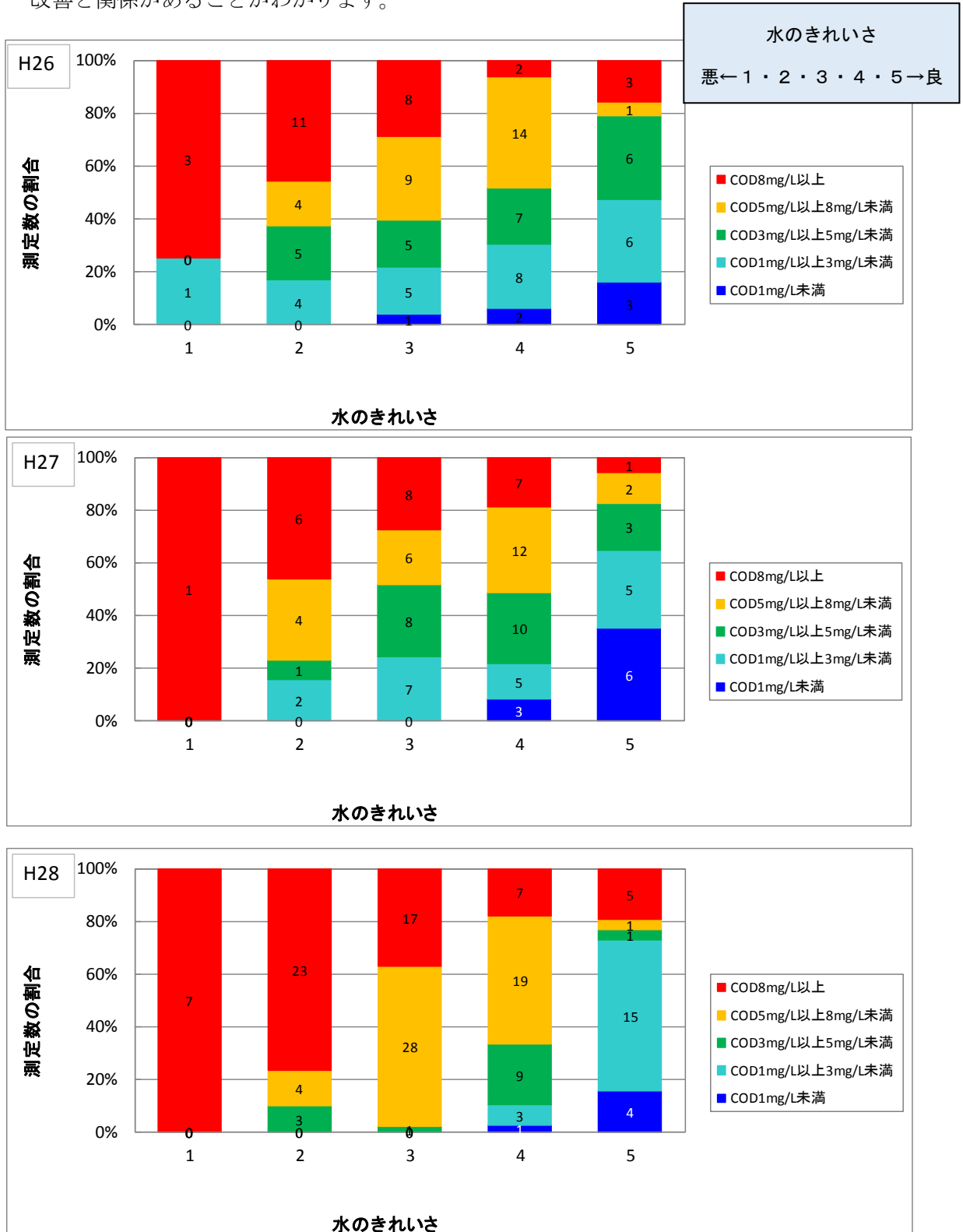
③ 流域全体の水際のごみの割合の変化（数字は%）

流域全体では、平成 21 年度と比較してごみが多いの回答（赤色）が 17%から 2%に減り、流域全体でごみが多い水辺が減っていることがわかります。



(10) 平成 26 年度～平成 28 年度の見た目の水のきれいさと COD の関係

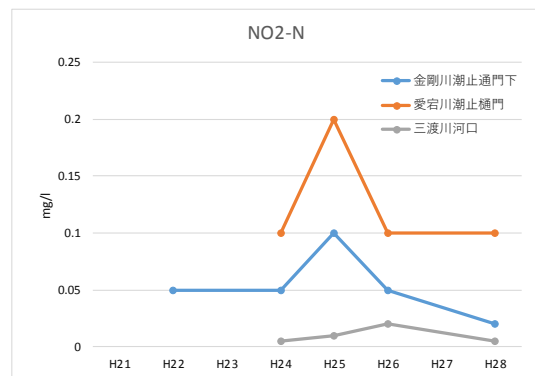
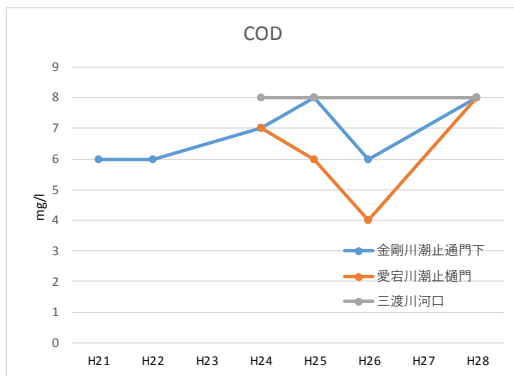
見た目の水のきれいさが 1（悪い）の評価のときには、COD8mg/L 以上の割合が高くなり、見た目の水のきれいさが向上するにつれて、COD の値は下がる傾向がみられます。これより、見た目の水のきれいさと COD の値には相関性があり、見た目の水のきれいさの向上が水質の改善と関係があることがわかります。



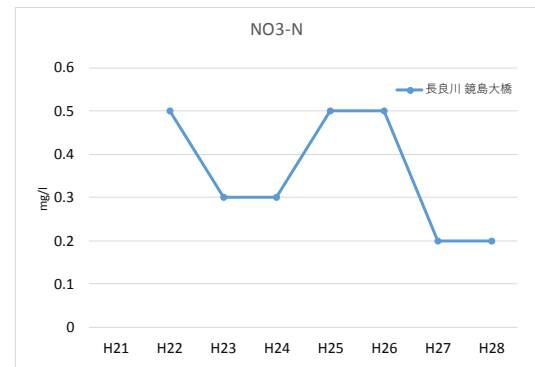
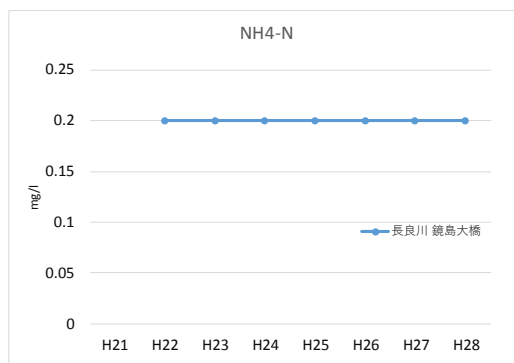
(11) 定点モニタリングの結果

地点により値の大小はありますが、COD 以外の項目でも改善傾向のものも多くみられます。定点モニタリングにより身近な河川や海辺等で経年的に水質調査を行い、水質の変動を観測していくことが大切だと考えられます。

① 三重県松阪市付近



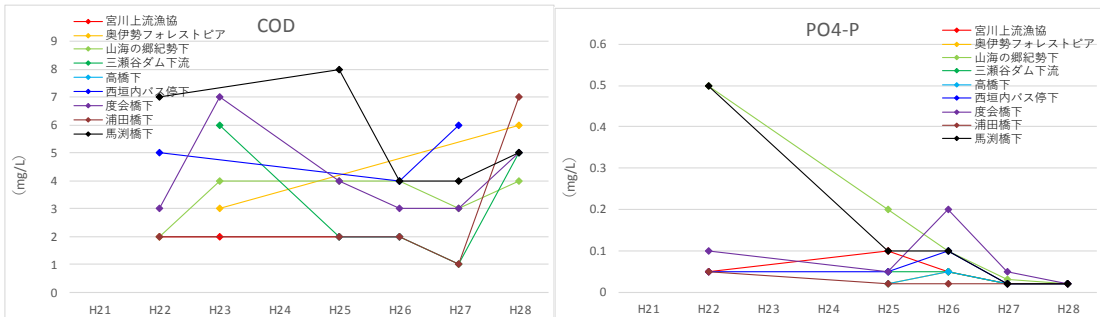
② 岐阜県岐阜市付近



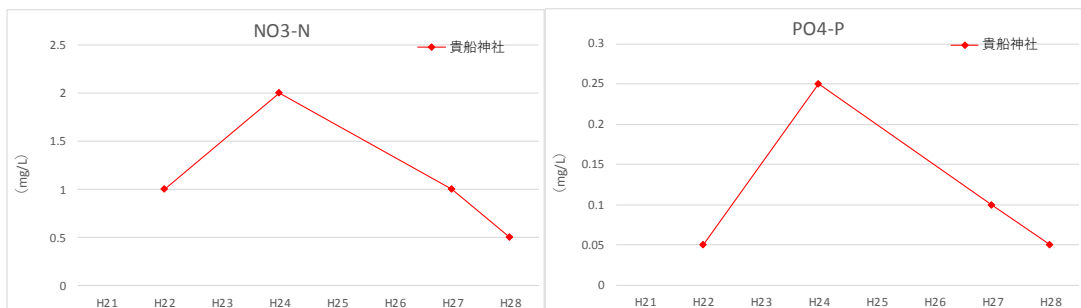
③ 名古屋港付近



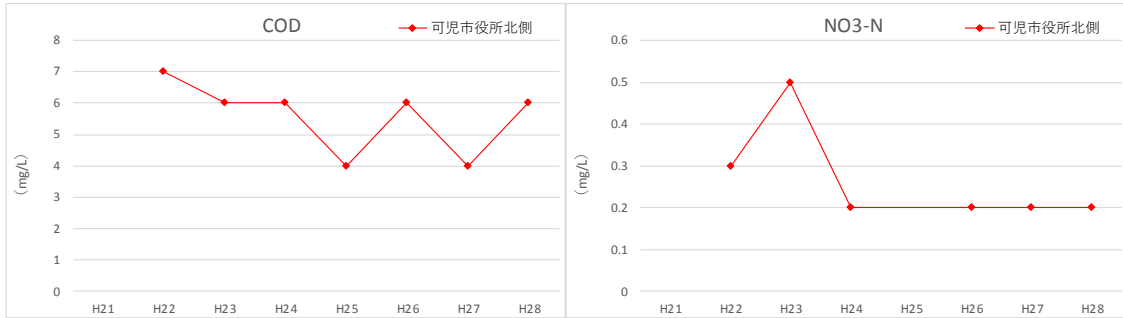
④ 宮川流域



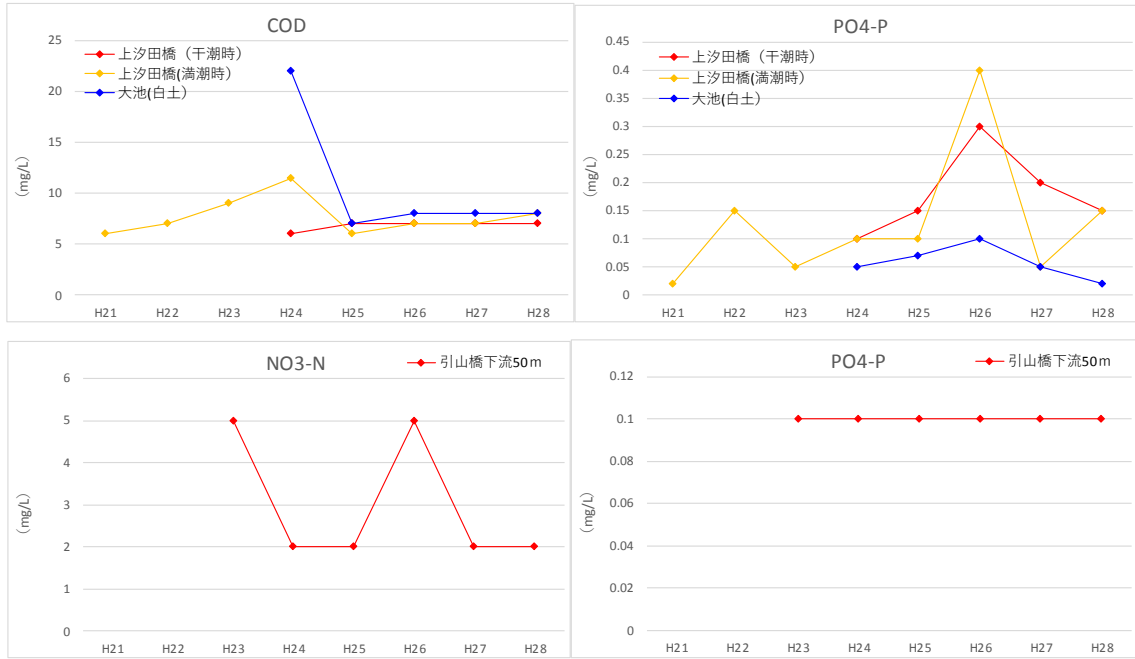
⑤ 岐阜県大垣市付近



⑥ 岐阜県可児市付近



⑦ 愛知県名古屋付近



⑧ 愛知県春日井市付近

